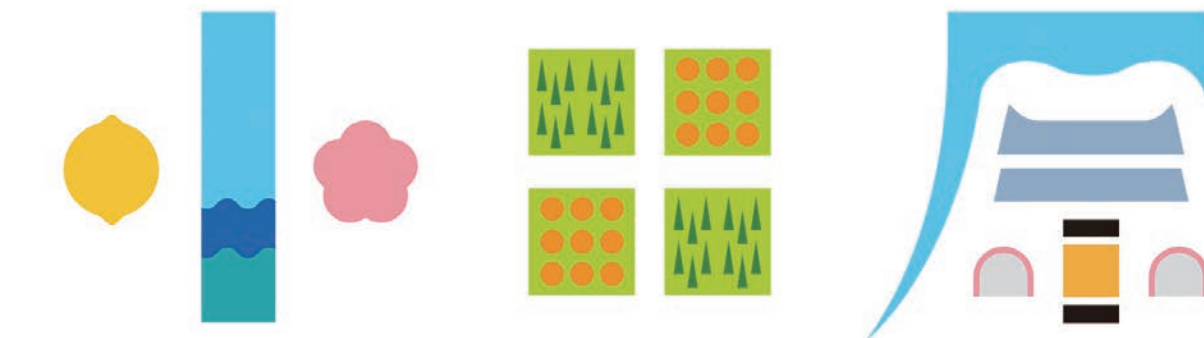




特集

今も、昔も、人の力

豊富な地域資源に恵まれ、発展してきた小田原。
積み重ねた歴史の中には、いくつもの課題や試練があった。
しかし、いつだって、小田原は人の力で壁を乗り越えてきた。
目まぐるしく変わってゆく時代の中で、
今も変わらずに根づく、人の力がある。



目次			
1 10	今も、昔も、人の力 他	11 11	おだわら情報
12 19	くらしのガイド おだわらいふ	20 20	「人の力」で持続可能なまちづくり

小田原の歴史をつなぐ「人の力」

人々が小田原市域に暮らし始めたのは、2万年前に遡る。森里川海^{はんらん}の自然、東海道沿いに位置する立地、温暖な気候。恵まれた環境は、独自の文化やなりわいを生み出してきた。さらに、戦国時代、関東を支配した北条氏が本拠地にしたことで、小田原は大都市になった。一方で、北条氏の滅亡、酒匂川の氾濫、江戸の大火……。時代ごとに、試練や課題があった。このまちが発展してきたのは、環境に恵まれたからというだけではない。いつの時代も、まちを支えた「人」がいたのだ。

1867 明治維新



▲廃城となった小田原城

江戸時代、城下町・宿場町として栄えてきた小田原だが、明治維新後、状況は一変した。小田原城は廃城となり、また小田原を県庁所在地とした足柄県も廃止され、神奈川県に編入されることになった。

衰退気味な小田原に新たな活路を見い出そうと奔走したのは商人たちだった。当時の県知事を通じ、伊藤博文など政界の大物に働きかけ、旅館や別荘地をあっせん。政治家、文学者、実業家……。さまざまな有力者が別荘や別邸を構え、新たなにぎわいを見せるようになった。

▶ 漁業の方法も改良。オシツケなどの深海魚も食べ、「何でも食べる人たち」と言われた。



▲遺骨や遺影が届けられた小田原駅

1945 太平洋戦争終戦

戦争は小田原にも暗い影を落とした。いわゆる「十五年戦争」での小田原の戦死者は2,000人を越える。8月15日、「玉音放送」の数時間前にも空襲があり、市民が命を落とした。

また、ミカンなどの果樹類は「不要不急」の作物とされ、大量伐採が命じられるという危機にも直面した。しかし、片浦の柑橘農家の人たちは、別の土地でイモやムギなどの生産に協力。そして、ミカン園の石垣沿いにサツマイモを植え、政府に出荷するなど、必死の工夫でミカンの木を守り抜いた。



▲戦後、ミカンの栽培も再開



▲寄附者の名前を、天守閣に使う瓦に残した

1960 高度経済成長期へ

戦後、復興・再建の青写真を県内でいち早く描いた小田原市。柑橘をはじめとする農業は再び興隆し、町村合併、工場誘致が進められた。そうして迎えた高度経済成長期。商工業や観光の発展を目標とする「商工都市型」のまちづくりが進んだ。観光の切り札として考えられたのが小田原城天守閣の復興である。城を造る経費の不足分を補ったのは、市民による寄附金であった。

所得は倍増し、市民一人一人が大衆消費社会を支えた時代であった。



▲1964年、東京オリンピックの聖火ランナーにお堀端通りで声援を送る



▶ 1964年、初めて小田原駅ホームに入ってきた新幹線を迎える人々



◀1888年に御幸の浜に開業したリゾート型旅館「鷗盟館」。人々の活気が伝わる相撲興行。



▲震災後の南町一丁目付近のようす



1923 関東大震災

9月1日、午前11時58分。突然、激しい音が耳をつんざいた。その瞬間、強い上下の揺れに見舞われた。世に言う関東大震災である。家屋は倒壊し、火災が発生。小田原町は「全滅の状態」であった。しかし、報徳の教えが息づいていた小田原のリーダーや商人たちは、食糧や衣服を提供。また、行政や民間団体が他府県に協力を仰いだことで大きな混乱は防がれた。



▲昭和初期、箱根駅伝ににぎわう街道



1940 市制施行

震災や世界恐慌による不況に、危機感を抱いた小田原の商人たち。整備された鉄道網を生かし、町の振興につなげ、市制施行を実現するため、1933年に「小田原振興会」を結成した。工場誘致や御幸の浜の海水プールの建設などの観光振興……。行った事業は多岐にわたる。そして、1940年、小田原町は足柄町、大窪村、早川村、酒匂村の一部と合併し、「小田原市」となったのだ。

2019 人口減少の時代の中で

明治維新後の衰退気味な小田原に活力を取り戻すため、有力者と“混じり合い”活路を見いだした人。

震災のさなか、“受け継がれた”報徳の教えを生かし、まちの混乱を防いだ人。交通網のよさを理由に、小田原に進出し、新たな価値を“創り出してきた”人。

このまちには、ピンチを乗り切るため、さらにはピンチをチャンスに変えるために必要不可欠な「人の力」が根づき、そして広がりを見せてきた。

今、日本全体が新たな課題を抱えている。「人口減少」である。それは小田原も例外ではない。人口は1999年の20万695人をピークに減少。20年経った今、19万人を割り込もうとしている。

でも、きっと大丈夫。新たな時代に立ち向かうための「人の力」がこのまちにはある。





受け継ぐ力

受け継がれる 海の魅力

古くから海沿いの村で広く行われてきた小田原の漁業。海のなりわいを守っていく技や知恵を次の世代、そしてまた次の世代へと受け継いできた人がいる。

全国屈指の若い漁師たち

34歳。これは小田原市漁業協同組合の定置網漁業者の平均年齢である。

しかし、平成初頭、小田原漁港では漁業者の高齢化が進み、平均年齢は60歳代になっていた。潮の流れが突如速くなる「急潮」などにより、定置網が壊されたり流されたりすると、復旧に多額の費用がかかる。小田原でも、たびたび被害があった。収入の不安定さは仕事として敬遠される要因になった。

そこで、小田原市漁業協同組合は市・県と協力し、平成9年度に急潮に強く、少人数で操業できる定置網を開発。また、翌々年から収入の安定を図るため、給料制を導入した。

そして現在、さまざまな地域で、後継者や担い手の不足が叫ばれる中、小田原漁港は、全国でも屈指の「若い」漁場となった。

小田原市漁業協同組合の漁労長補佐の込山豊志さんは、給料制が導入された直後に漁師になった。

「おれが漁師になった頃は、60歳代や70歳代前半の漁師がほとんどだったんですよ。今は仕事の多くが機械化されているけれど、当時は人力。網を引っ張るときは、30人ほどの漁師が力と声を合わせたんだ。年配漁師は活気があって、元気で、圧倒されたなあ」。

体力、集中力、精神力。漁はハードな仕事である。だからこそ、当時の漁師たちは、小田原の海を担う、新たな人材づくりに奔走し、自分たちの技を受け継いできた。

「70歳代前半の人の作業は、めちゃくちゃ速かったんですよ。網の結びとか魚の選別とか。人によってやり方もばらばらで、それが面白かったです。いろいろな人からやり方を教わったな。いまだに、あの人たちにはかなわないんじゃないかなって思いますね」。

若えもんがこの網を守んだぞ

20年の時が流れ、込山さんは小田原の定置網漁業者の中で、上から3番めの古株になった。『受け継がれる』立場から、『受け継ぐ』立場になってきた。

「若手には、けがをせず、手早く仕事をしてもらいたい。自分は引き締め役。気の緩みがけがにつながるから、必要であれば、注意することもある」。

若手漁師はそんな込山さんのことを、どう思っているのだろうか。

2年前に漁師となった小藤岬さんは、「教わるところが一番多い先輩」だという。小学生の頃、テレビで見て、漠然と憧れた漁師の世界は、驚きの連続だった。

「込山さんたち、先輩漁師は、縄の縛り方や魚の選別の速さの次元が違う。魔法を使ってるんじゃないかって思う。びっくりしたのは、『これっ!』っていうマニュアルがないことですね。細かい技術は教わるだけでなく、盗んでいきたいです」。

奇しくも、込山さんがベテラン漁師に感じていたことと同じことを、小藤さんは込山さんたちに感じていた。込山さんは「ほんと、頼りになる後輩ですよ」とはにかんだ。

時を隔てても抱く共通の思いがある。一方、変わっていくこともある。以前は季節ごとに取れる魚が決まっていたが、最近は、取れる魚種も、時期も変わってきた。

「水温が上昇している影響ですかね。網につく汚れも変わってきました。“変化”ということですので、仕事の機械化も進んできているので、仕事の効率化を意識しています。でも自分は昔の人に教わっているの、皆で声を出して力を合わせる方が好きなんです。声を合わせ、団結力を高めることも大切にしていきたい。時代が変わる中で、変化に対応しながら」。



▲今年38歳になる込山さん(左)と25歳の小藤さん(右)



行政の取り組み ～受け継ぐ～ あなたが小田原の未来の担い手に

おだわら市民学校 生涯学習課 ☎33-1882 WEBID P27184

小田原の今と未来のため、そして「持続可能な地域社会」の実現のためには、世代や立場を越えて、市民の皆さんが郷土を愛し、手を携えチカラを発揮することが求められます。

「おだわら市民学校」は、皆で集い、ともに学び、実践へつなげる「人のチカラ」を育む“新たな学びの場”。座学と実習を交えて、「小田原の今」を学び、地域で活躍する人材を育てます。

講師には、実際に市内の現場で活躍している人も名を連ね、教える側としておだわら市民学校を支えています。



おだわら市民学校
Odawara Citizen School

1年め 基礎課程

おだわら学講座
小田原全体の魅力を学び、郷土愛を育みます。

2年め 専門課程

自分が選択した分野の学びを深め、実践につなげます。





ら、いいところを引き継いで、定置網漁業を守っていきます」と込山さんは言う。
「定置網漁業を守る」。その決意は、先輩漁師に言われた言葉としても胸に残っている。

「年配の人たちに教わりながら、『若えもんがこの網を守んだぞ』と言われてきた。小藤たちの時代にも引き継いでいきたい。そして、さらに若い子が入ってきて、小藤たちがその子に引き継いでいってくれたら、うれしいですね」。

小藤さんは「漁師はもちろん、水産業に携わる若手がたくさんいる。10年も20年も続けて、自分たちの世代が引っ張っていけたらいい」と目を輝かせる。



ウニ、港の夜市、新たな魅力 続々

小藤さんが言うように、今、小田原の港ではさまざまな若い力が躍動している。

小田原市漁業協同組合の青年部では、「ウニ」の養殖にも取り組んでいる。相模湾などで取れるウニは身が詰まっていない。そのうえ、漁場の海藻を食べ尽くしてしまうため、「海の厄介者」とも呼ばれる。そこで今、ウニの養殖が注目されている。市内でも、養殖によりウニを地域の資源に変えようとしているのだ。エサは、市内のスーパーから譲り受けた、廃棄されるキャベツの外側の葉。また、ウニが鮮やかな色になるように、市内のミカン加工業者から提供を受けたミカンの皮を少しずつ与えた。そして、今年の7月に約400個を初出荷。



▲養殖中のウニ

青年部部長の古谷玄明さんは「今後の目標は、量より質。『このウニだったら買いたい!』と言ってもらえるウニの養殖を目指します」と意気込む。

また、人々の価値観やライフスタイルも変わってきた。昨年、魚や海のさらなる魅力の向上を目指し、小田原漁港周辺で鮮魚、飲食、卸業を営む若手水産関係者が中心となり、「小田原地魚大作戦協議会」が設立された。

「食生活が多様化してきて、『わざわざ魚を食べなくてもいい』と考える人が増えてきた。子どもの魚離れが進んでいることや、魚屋さんが減っていることに

危機感がありました。『何をしたらよいか』は分からなかったが、まずは『動こう』と。そう語るのは、協議会の副会長で、『株式会社鮑屋』で常務取締役を務める市川将史さんだ。

どのような付加価値をつけると水産業全体が盛り上がるか。協議会で議論を交わした。

そして、一つのキーワードにたどり着いた。「楽しさ」だ。「海と魚を中心にした“海なりわい”の中でも、『感じる・体験する』という分野は、まだ伸びしろがあります。『おいしい』に加え、『楽しい』を感じられる地域にしていこうと考えました」。

小田原の港や魚の魅力を、楽しみながら知ってもらうため、市民や観光客を巻き込みながら、とろサバ棒など新商品の開発、漁港に近い通りの愛称募集などに取り組んできた。

今年5月には協議会が中心となり、「港の夜市大作戦」を開催。初の夜の港をテーマにしたお祭りだ。漁船に乗り、景色や海風を楽しむ「漁船ナイトクルーズ」は大人気だった。夕暮れ時に乗船した子どもは「魚がいっぱいいー!」と大興奮だった。



▲新商品「とろサバ棒」をパクリ



受け継ぐべきものは何か

「子どもが海や魚に興味を持ってくれるのは、やはりうれしい。小田原で取れる魚は、昔から変わらずおいしく、新鮮で、種類も豊富。私たちはその魅力的な魚に、さらに魅力をプラスしていく。それが新商品の開発であったり、皆が楽しめるお祭りの開催であったりします。これからも小売店や飲食業界、地域住民などが集まって、意見を交わしていきます」。

市川さんが働く鮑屋は、1587年に創業した県内一番の老舗。受け継ぐことの大切さは、身に染みて感じている。「小田原の漁業者や水産業を営む人は『魚に対してプロでなくてはいけない』という意識が強いと感じる。そういった『愚直に魚のことを見続ける』という姿勢は、ずっと受け継がれてきたものだと思います」と力強く話す。

今回、取材で出会った人たちは、口々に「小田原の海はすごいんだ」と言った。

「小田原の海は急に深くなる。深海魚から浅瀬の魚まで、いろんな魚が取れる」「他の地域で魚を食べると、小田原の魚のおいしさに気づきますよね」「地元で取れた魚を地元で消費できる環境がある」。

古くから続く小田原の漁場。そこには確かな価値が裏づけされるだけの理由がある。時代の流れをしなやかに受け止め、変化しながら、海の恵みは、次の世代に受け継がれていく。



▶小田原地魚大作戦協議会副会長の市川さん

やりたいことが見つかる「学び」を

講座を担当する指導員は、運営のお手伝いや、グループワークの進行、授業の振り返りなどを行っています。「担任の先生」のような気持ちを持って、仕事に取り組んでいます。

「おだわら市民学校」は地域で活躍するための入口です。目標は、学びで終わるのではなく、卒業した後、主体的に活動してもらうこと。そのため、活動団体を紹介するなどの工夫をしています。

強みを生かしてやってみたいことがある人、何歳になっても学ぶ気持ちを強く持つ人……。私たちも受講生の皆さんに刺激をもらっています。そんな皆さんと一緒に、「おだわら市民学校」を一步一步、進めていきたいと思います。



▲生涯学習課のおだわら市民学校スタッフ

学びで気づき、気づけば変わる

昨年のおだわら学講座から参加し、専門課程は「サポートの必要な人を支える」に進みました。学びを通じて、「人とのつながり」「分野のつながり」など、「つながる」ことの大切さと創造の豊かさを実感しました。

おだわら学講座で、特に印象に残ったのは、自然環境の回でした。専門課程で進んだ福祉の分野では、森林セラピーとして展開可能かもしれない。小田原の現状と課題を幅広く学んだことで「気づき」があり、意識・視点が「変わる」体験でした。

誰もが支える側、支えられる側の両面を持っています。一人一人は微力かもしれないけれど、無力ではない。いざというとき、年代も背景も持ち味も違う仲間が、ゆるやかに、しなやかに、つながる可能性を感じています。



▲おだわら市民学校受講生の森田忍さん



混じり合う力

共に導く、 柑橘の明日

大正時代から小田原で積極的に作られてきた柑橘。「耕作放棄地の拡大」「鳥獣被害の増加」といった新たな課題に、地域外の視点やニーズを持った人と共に、課題解決に取り組んでいる人がいる。

外の人と共に、課題を解決する風土

「連絡手段は電話ではなく、LINEにしましょう」
「ドローンを使って、鳥獣のようすを撮影したいので、この日の夜は外出を控えてほしい」
「農家さんや狩猟者と協力して新事業を行いたい」
「事業を見届けるため、この地域に住みたい」
若い大学生による、斬新な提案。そんな「刺激的な」提案を受け入れ、共に課題解決を目指した地域がある。片浦地区の北部に位置する石橋地域だ。
「外の人と共に、課題を解決する」。石橋地域にとって、それは特別なことではなかった。

遡れば、戦後、ミカンの生産量が増えた際には、繁忙期に東北や北陸から「援農者」と呼ばれる、収穫や仕分けを手伝ってくれる人々を呼び、共に作業した。

オレンジの輸入自由化に伴い、ミカン農家が打撃を受けた際は、NPOと協力し、収益が高く、安全な国産レモンの栽培を推進。最近では企業や大学とも連携し、「片浦レモン」は一層の盛り上がりを見せている。

そして、昨年度、増える鳥獣被害について、大学生とも地域が共に考え、実践に移した。

刺激を伴う都会的で若い視点

「祖父の時代から、根っからのミカン農家。二十歳の頃からこの仕事一筋」と語るのは、石橋自治会長の鈴木裕章さんだ。

「担い手がいないと、耕作放棄地が増えてくる。すると、田畑が荒れて、鳥獣被害も増える」。

そうした中、平成28年度から、環境分野の地域課題の解決に向けた持続可能な仕組みを研究する事業がスタート。そして、石橋地域の鳥獣被害対策の研究について、慶應義塾大学から提案があった。

「大学生が『都会から電車1本で、狩猟のできる場所に来られるっていうのは、一つのメリットなんじゃないか』なんて言うんだ。メリットだなんて考えたこともなかった。この地域にとっては大きな刺激になったよ」。

都会目線、若者目線でのアイデアは、鈴木さんたちの連絡手段も変えることになった。

「大学生にLINEのグループ機能を教えてもらってね。関係者でグループを作って、イノシシやサルの出現情報を共有したんだ。気軽に連絡が取れるから、情報共有も密になった」。

多くの作物を食べ荒らすイノシシ。柵も越えてくるサル。諦めかけていた鳥獣被害に打つ手が見え、生産意欲を取り戻したという。

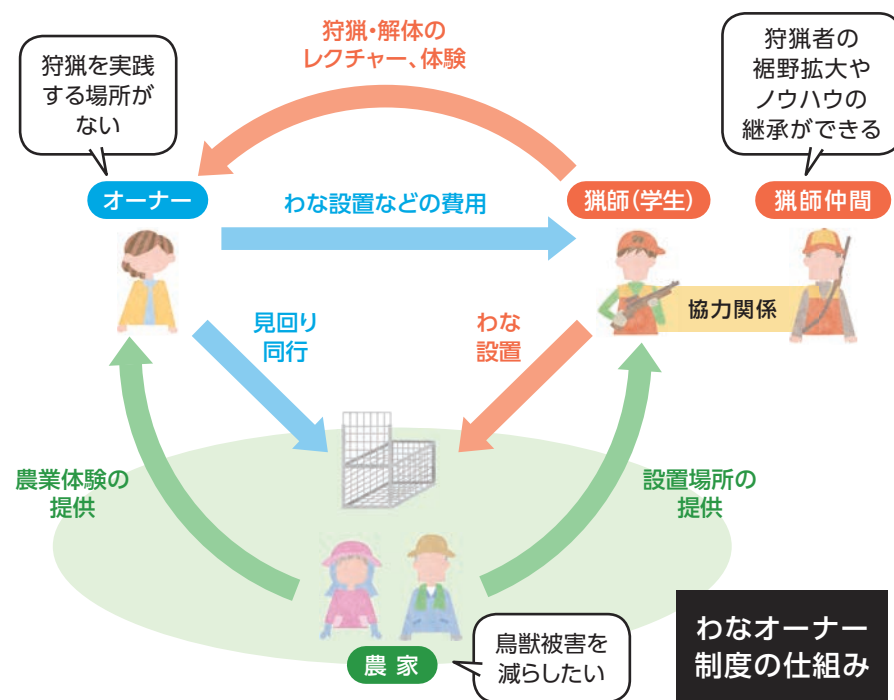
大学生は鳥獣の動向を探る手段として、温度の撮影が可能なカメラを搭載したドローン空撮があることを、論文などから学んだ。調査を実施したいと考えた大学生は、安全確保のため、調査実施時には住民に外出しないよう説明会で協力を要請。地域は大学生を全面的にバックアップした。



▲被害状況などを分かりやすく、手軽に共有できる



▲(左から)菅田さん、鈴木さん、矢郷さん。世代は違うが仲のよい3人



そして、現地調査を終え、大学生と地域で協力しながら、鳥獣被害に対する一つのモデル事業を考案し、試験的な運用まで行った。それが「わなオーナー制度」である。

「わなによっては、毎日見回りが必要なものもある。そうしたら、大学生の一人、菅田悠介くんが『自分も見回りしたいから、ここに住む』って言い出したんだよ。珍しい子だね。でもすごくうれしかったな」。

石橋地域では菅田さんを迎え入れるため、地域の神社の社務所を貸し、菅田さんは半年間住んだ。

「授業の枠組みを超えて、地域に関わろうと思ったんです。地域の人は、僕が友達を連れてきたときも、『おお、よく来たね』って言うってくれるからうれしい。就職後も、自分のネットワークを生かしながら、石橋地域と関わっていきます」と菅田さんは話す。

地域で農家を営む矢郷史郎さんも、大学生を家に泊めるなど、積極的に関わってきた。実は矢郷さんの出身も小田原ではない。

「婿として僕がここに来たときも、地域の人はめちゃくちゃいい人だった。僕は大学生を友達だと思っています。この地域に来てくれるだけでも、皆、喜んでいきますよ」。



地域全体で、若者を迎え入れる土壌があった。

地域の農業が抱える課題に対して、「農家だけでも、自治会だけでも、解決できない」と鈴木さんは言う。「今後は、“佐奈田^{さなだ}霊社^{れいしゃ}”や“電車の撮影スポット”など、農業以外の魅力も使って、地域を活性化させたい。地域の人はもちろん、異なる視点を持つ人と一緒に考えることで、刺激になるし、新たな可能性の発見につながる」と展望を語る。

「仕事」ではなく「生きがい」として

「外の人」と混ざり合って、課題解決をしようとしているのは、石橋地域だけではない。早川地区では、耕作放棄地の解消につなげるため、農業従事者以外の人による農作物の栽培体験を行っている。農業がしやすい環境を作るため、県による農道の整備や、柑橘栽培の体験事業を通じて、風穴を見つけてきた。

早川で農業を営む青木義隆さんは、「県が農業体験募集を行うと、定員はすぐにいっぱいになる。ただ、その多くは、横浜や川崎の人なんです。どうして小田原からの応募が少ないんだろう、関心を持ってもらえないのだろう、という問題意識がありました」。

地元を巻き込んだ活動を模索していたある日、「一緒にやろうじゃないか」。声をかけてきたのは、高校時代の級友、市川公雄さんだった。

当時、市川さんはシニアが健康的に暮らすための居場所をつくる組織の立ち上げを考えていた。退職後、職場の同僚や高校時代の仲間、7人と意気投合。平成27年に「SNOA(シニアネットワークおだわら&あしがらの略)」として活動を開始した。

「青木さんに連れられて、早川の丘陵地に行ったときは驚いたな。60年以上も小田原に住んでいたのに、こんなに風光明媚^{ふうこうめいび}な場所があることを知らなかった。でも、この美しいミカン畑が荒廃しつつあるという話も聞いたんです」。

「何とかできないか」。そう考えたとき、「シニアの居場所づくり」と「ミカン畑の再生」が結びついた。こうして、SNOAが早川で手掛ける「みかん農園プロジェクト」は動き出した。

まず、青木さんが地域の農業の現状や、ミカンの耕作について講義を行った。現在、SNOAの2代目代表を務める安藤和幸さんは、講義を聞き「ミカンを育てることは、子どもを育てることに似ている」と感じたという。そして、SNOAは青



▲(左から)安藤さん、青木さん、市川さん。SNOAの活動は、「みかん農園プロジェクト」以外にも中高生への英語学習支援や、市や商工会議所、介護施設からの委託業務などさまざま

木さんが管理する農地でミカンの苗木を植栽。ミカンを育てることと、子育てが似ていることに着想を得て、自らが中心となって世話をするミカンの木を決めておく「里親制度」を導入した。

青木さんは、SNOAのメンバーにミカンの栽培についてアドバイスをし、日頃からミカンの木の状態をチェック。「ミカンは野菜と違って、3年ほどの期間をかけて育てなくてはならない。また、初期は労力がかかるが、ある程度成長が安定すれば、1か月に1度くらいの管理で十分になります。もちろん、仕事にするには、もっと厳密な管理が必要になります。でも、自分たちの生きがいとして農地を生かしてもらうのに、ミカンの栽培はちょうどいいと思うんです」。

広がってゆく混じり合い

「ミカン栽培を始めた当初、もしかしたら地域の人は、私たちが農業に関わることに違和感を覚えていたかもしれません。しかし、2年、3年と継続的に活動する中で、徐々にSNOAのことを認識してもらえているような気がします。青木さん以外の農家さんとのつながりも生まれ、作業する農地も増えています」と安藤さん。

今年の夏には、果実の成長のために間引いた「青ミカン」がドレッシングの材料として使われた。当初7人が声を掛け合い始まった活動は、今や多くの人を巻き込み、広がりを見せている。

8月25日。ミカン農園での作業日には、45人が集まった。その中にはSNOAの活動を新聞で知り、横浜から参加している夫婦もいた。

「横浜から参加したいと、いきなり電話をかけたら、すぐに受け入れてくれてうれしかったです。参加してからちょうど1年。ミカンも、メンバーも、ここから見える眺めも、とても好きです」と笑った。

また、プロジェクト参加者はSNOAのメンバーだけではない。青木さんはもちろん、関東学院大学や小田原短期大学のゼミの先生・学生、若手起業家も混ざり、農園の生かし方や地産地消について考えている。

「景色もきれいな早川。自然の中で歩くオレンジ色のバーจินロードは写真映えする!」。そんな関東学院大学生たちの発案で、11月にはミカン農園でのウェディングイベントが企画されている。

青木さんは、「いろんな人と地域の農業のこれからについて、考え、実際に取り組めることがうれしいですね。来年からは新たに300坪の耕作放棄地を、ミカン農園としてSNOAの皆さんと活用していきます」と意気込む。

地域の農業が抱える課題。万能薬はまだない。地域の人たちは「自分たちにできることは地道なこと」と言う。しかし、新たな視点やニーズを持った人と協力しあう柔軟性や積極性がある。そして、今、その混じり合いが、「地道なこと」を大きなうねりに変えようとしている。



▲横浜から参加している鹿内夫妻



行政の取り組み ～混じり合う～ 都心に住んでいるあなたの力を、小田原で生かす

小田原市UIJターン就職応援合同説明会

産業政策課

☎33-1514

WEBID P27359

都心に住んでいる若者向けに、小田原の企業などによる就職説明会を開催します。企業12社が参加。身につけた知識や経験を生かし、地域の企業で活躍しませんか。

参加する12社の各企業のブースで個別説明を行い、採用面接にも応じます。ハローワーク小田原による就職相談窓口や、暮らしの情報、小田原市の紹介コーナーもあります。小田原での就職や移住を考えるお子さん、お孫さんなどにお知らせください。

※ハローワーク求人検索端末で、求人票を閲覧可能

日時 10月20日(日)11:30～14:30

場所 ふるさと回帰支援センター(東京都千代田区有楽町2-10-1)
東京交通会館4階 セミナーコーナーC・D
(JR有楽町駅から徒歩約1分)

対象 市への就職・移住を希望する人(中学・高校卒業予定者を除く)

持ち物 ・履歴書

・雇用保険受給資格者証(雇用保険受給中の人)

・ハローワークカード(持っている人)

UIJターン就職とは

Uターン就職 都市部での就職・就学を経て、故郷に戻って就職をすること

Iターン就職 出身地に関わらず、地方で就職すること

Jターン就職 地方から大都市に就職・就学した人が、故郷近くの地方都市に就職すること



▲説明会のようす



創り出す力

新しく芽生える、小田原の魅力

いつの時代も地域資源を生かしてなりわいにつなげてきた小田原の先人。加速する人口減少社会の中で、このまちに移住し、新たになりわいを創造しようとする人がいる。

おもしろいまちの恵まれた出会い

平成25年、山口陽子さんは、新天地を探していた。

「夫の仕事の関係で千葉市からの移住を考えていました。移住先で本格的な『米粉の料理教室』を始めたかったんです。料理教室を開くために自宅をリフォームできることが条件でした」。

たまたま参加した「米粉食品指導員」の認定スクール。アレンジが効きやすい性質、米由来の癖のない味など、米粉が持つ可能性に魅了され、なりわいにしたいと考えるようになった。茅ヶ崎、鎌倉など、移住候補となるさまざまな地域を巡った。

そして、山口さんが選んだ新天地、それが小田原だった。

「教室に通う生徒のことを考えると、できればターミナル駅で、距離も歩ける範囲がよいと思っていました。いろいろな条件を出していくなかで、奇跡的に今の家が見つかりました。実は、それまで小田原のこと、全然知らなかったんです。小田原と言えば『箱根駅伝』の印象。だから最初、小田原中継所と国道1号を見て感動したな」。山口さんは当時を懐かしみ、いたずらっぽく笑う。

家があるのは、幸地区。山口さんは、地域のことを「おもしろい」と言った。

「『北条から続く500年の歴史』とか市民の皆さんは当たり前のこととして、話されるんですね。500年昔のことを話せるまちってなかなかないと思うんです。地元で話されている『言い伝え』とかもたくさんある。本当におもしろいなって思います」。

そんな山口さんには、本格的に米粉料理教室を開くに当たって、懸念材料があった。米粉の調達である。米粉は製粉が難しい。千葉市に住んでいた頃、米粉を使う際は、新潟県から調達していたが、送料などの費用が高かった。解決の糸口になったのは、移住の相談をしていた地元の不動産屋さんだった。地域でお米屋さんを営む「志村屋米穀店」を紹介してくれたのだ。

「少量からでも地元産の米粉を買えるのはラッキーでした。それに、志村さんがとても顔が広くて、いろいろな人と知り合うことができました。知り合いもほ

とんどいない小田原でしたが、最初の一人に恵まれて、人脈を広げ、地域にも入り込んでいけました」。

念願だった米粉料理教室は、平成26年7月にオープンした。

「最初に教室に参加してくれたのは、少し離れた市内に住んでいる人たち。その人たちが口コミで生徒さんを連れてきてくれたんです」。



▶小麦粉を使わずに米粉で作られたクッキー



▲「小田原を盛り上げるため、観光情報なども提供しています」と山口さん

行政の取り組み ～創り出す～ あなただけの小田原ライフを見つけるために

移住のオーダーメイド型サポートについて、詳しくはこちら▶



移住のオーダーメイド型サポート 広報広聴課 ☎33-1268

子育て環境、教育のこと、住まいのこと、買い物事情、仕事のこと……。小田原に移住を考えている人々が気になることは十人十色です。

市では、皆さんの疑問に応えるため、小田原市の暮らしに興味がある人、実際に移住を検討している人を対象に、小田原暮らしの紹介を行うオーダーメイド型のサポートを行っています。気になる施設などにも、実際にご案内。要望に応じて、先輩移住者の話を聞く場も用意します。

移住希望者から「山も海もあるなんて、『ぜいたく』ですね」と言われたことが印象に残っています。小田原市で生まれ育った私が「当たり前」と思っていたことに、大きな価値があるのだなと気づかされます。

「小田原を好きになって、移住する」。そういった人々を増やすため、小田原の魅力発信や、移住支援に努めています。そして、移住者と、もともと小田原に住んでいた市民が一緒になり、小田原を盛り上げていけると嬉しいです。



広報広聴課 浅岡龍馬

一緒にまちの魅力を発信しよう

@odawalabもフォローしてね!

Instagramの市公式アカウント「@odawalab」では、生きるチカラが湧いてくるような小田原の写真に「#小田原のチカラ」をつけて毎日投稿しています。市外の皆さんに小田原の魅力を知ってもらうためには、皆さんの発信が大きな力になります。あなたが「小田原のチカラ」を感じる写真もぜひ投稿してください。





ビジネスとして続けたい訳

「教室で作った米粉料理を人にあげたい。買えたらいいのに」。

料理教室の生徒の言葉をきっかけに、おとし10月、米粉を使ったパンなどを売る「こめこめこ」をオープンした。料理教室のある自宅からほど近い「かまぼこ通り」に店を構えた。当初は、地域の人のためのお店になればいいと考えていた。

ある日、「こめこめこ」に一人の来客があった。
「グルテンフリーのパンはありますか？」

グルテンとは小麦に含まれる物質である。そして、グルテンは小麦アレルギーの原因でもある。しかし、グルテンフリー、つまり小麦を一切使わない、米粉100%のパンはおいしく作ることもとても難しい。店を立ち上げたときは用意できなかった。



「日に日に問い合わせは増えていきました。小麦アレルギーのお客さんから『どうしても、パンを食べたい!』と言われたけれど、作ることができなくて、断り続けました。心苦しかったです」。

それから山口さんは、おいしいグルテンフリーのパン作りに没頭した。「必要としてくれている人の期待に応えたい」。それがエネルギーだった。そして、開店から1年、グルテンフリーのパンを完成させた。現在、店頭に並ぶパンには、グルテンが2割含まれている。しかし、予約をすれば、グルテンフリーのパンを用意することができるようになった。

パンを食べたい小麦アレルギーの人。健康志向で米粉を求める人。米粉の味が好きな人。今、「こめこめこ」には、おいしい米粉のパンを求め、地域だけでなく、平塚や横浜、遠方から多くのお客さんが来る。

山口さんは、「パン屋さんというほどのパンの種類はない。毎日、4種類くらい」と笑った。「それでも」と続ける。「**うちみたいなパン屋さんがないと、パンを食べられない人たちがいる。大きなパン屋さんと違う価値が、そこにあるかな。そういう人たちの『駆け込み寺』であり続けたいです。だからこそ、教室もお店も趣味の延長線上ではなく、なりわいとして、ビジネスとして、継続的にやっていけるようにしたい**」。

小田原から米粉の魅力をビジネスとして発信する。起業家としての強い信念がみなぎる。

旅行帰りのバスが運んだ運命の場所

山口さんのように、小田原をなりわいの拠点に選ぶ人がいる。

おとし、小田原に移住した、たなかきよおこさんもその一人だ。

たなかさんにとって小田原は、箱根旅行の帰り、バスの終点として、たまたま降りたまちだった。

「子どもと一緒に城址公園と御幸の浜に行ったんです。海が近くて、なんかいいまちだなんて思いました。その後、もう一度遊びに来ました」。

程なくして、「新宿のど真ん中」から引っ越すことになった、たなかさん。頭に浮かんだのは、2回しか訪れたことのない小田原だった。

「『海が近いこと』『新幹線も通っているアクセスのよさ』。それが決め手でした」。

小田原に住み、2年。「新鮮でおいしい農作物や海鮮が、安く簡単に手に入ること」「海だけではなく、山の自然もたくさんあるところ」「近隣の市町に観光地や絶景があること」。好きなところは続々と増えている。

たなかさんの職業はイラストレーター。明るく、やわらかいタッチが特徴的

だ。小田原の町並みも多く描いている。

「最初は自分が気に入ったところを好きに描いていました。だんだんと、まだ知られていない魅力を描いていきたいと意識するようになってきています」。

たなかさんはまちの絵を制作する際に意識することがある。“人”を入れることだ。

「絵を描くとき、最後に人を入れます。生活している感じが見えるように。まちが『**生きている**』ように見えるように。小田原って別荘とか、古い建物が、観光スポットや文化財としてだけではなく、まちの至る所に点在して、人々の生活に溶け込んでいる。そこが本当に好きなんです」。



▲松永記念館(老樺荘)

絵がつないだ人と人

移住当初、知り合いは誰もいなかった。しかし、絵を描くことで多くの人との出会いがあった。

「絵を描かせてもらうときに、いろいろな人と親しくなりました。皆さん喜んでくれた。好意的に受け入れてくれてありがたいです。『小田原のよさを再確認できた』と個展で感想を書いてくれた市民のかたもいました。正直、ここまで喜んでもらえるとは思ってなかったです」。

変わり続ける町並み。描いてきた作品の中には、閉店してしまったお店もある。しかし、たなかさんの作品として、世に残り、新たな人々の感動を生むだろう。

2年、小田原に住み、地域のお祭りなどに参加して、知り合いも増えている。今、たなかさんは「もっと小田原に関わっていけたら」と感じている。

「例えば、小田原の会社とコラボして、仕事ができればいいな。小田原はミカンとか、レモンとか『**いいもの**』がいっぱいある。それにかわいいパッケージをつけて売れば、もっと『**いいもの**』になると思う。そういったことのお手伝いをしたいです」。

たなかさんは小田原で可能性をさらに広げようとしている。

さまざまな人が混じり合い、力を合わせ、受け継いできた小田原の力。『おもしろい』『**いいもの**』として、山口さんやたなかさんの瞳に映っていた。その土壌の中で小田原に新たな魅力が芽吹いていく。



▲「清閑邸は特に好きな場所です」と語るたなかさん

編集後記

今回、「受け継ぐ」「混じり合う」「創り出す」という切り口で行った取材。昭和以前の古い写真を提供してくれた人、幼児教室にボランティアとして東京から参加していた大学生、歴史的建造物で市民が集うイベントを開催している人々……。記事中で深く扱いきれなかった「受け継ぐ」「混じり合う」「創り出す」がたくさんありました。そして、その3要素は独立しているわけではありません。受け継がれてきたものがある中で、混じり合いは起こり、新たな創造が生まれていました。

激動の時代の中、変化は恐れず、人のつながりや思いは絶やさない。それこそが小田原の強さなのだと感じました。

広報広聴課 鶴井真人

取材していく中で、「特別なことをしている訳ではない」と皆さんが言いました。しかし、話を聞くと、外から見た私には、一人一人が力強く、「特別」に見えました。何気ない、一人一人が日常で取り組んでいること、昔から続いてきたこと。

それが結びつき、小田原を支える力となっている。

そして、いつまでもみんなが笑顔で暮らせるように、このかけがえのない「人の力」がいつまでも続くように。一人一人が、身近なことを意識することが大切だと感じました。

広報広聴課 山浦雅史

連載 第二回 北条氏と小田原城

・企画 北条早雲公顕彰五百年事業実行委員会(☎観光課 ☎33-1521)
・執筆 小田原市経済部副部長 諏訪問順

伊勢宗瑞の小田原城はどこにあったのか。

伊勢宗瑞(北条早雲)の小田原城はどこにあったのか。その問いに多くの市民は、現在の小田原高校の一帯、八幡山古郭だと答えるでしょう。小田原高校校歌には「覇者の古城の跡に立つ」とあり、八幡山こそが、宗瑞が大森氏から奪い、小田原城を築いた場所だと考えられていました。しかし、そのことを伝える文書などが無いので、確実なことは分かりません。

では、発掘調査から考えてみることにしましょう。八幡山古郭では、小田原高校改築に伴う発掘などが複数地点で行われ、堀や井戸、道路や方形竪穴など多くの遺構が検出されています。実は、これらの遺構はいずれも年代的には、宗瑞亡き後の16世紀後半と考えられるものばかりで、宗瑞時代はおろか、氏康時代の遺跡の存在も確認できていません。では、どこに宗瑞時代の遺跡があるのかというと、御用米曲輪や銅門周

戦国大名小田原北条氏の本城であった小田原は、関東の首府として政治・経済・文化の中心でした。今年は北条早雲こと伊勢宗瑞が亡くなって500年という節目の年。

北条氏と小田原城を知る、全3回の連載です。

今号では、初代伊勢宗瑞の小田原城はどこにあったのかに迫ります。

辺など、二の丸一帯と欄干橋町遺跡などの東海道近くに集中していることが明らかになっています。宗瑞が城を構えた条件は、小田原宿や関所の管理を行いやすい位置で、かつ、要害(城)となりうる高台の地形を兼ねた場所であろうと考えられます。その条件を備えているのは、現在の本丸と二の丸一帯であり、宗瑞の小田原城は、そこに位置した可能性が高いことを、発掘された初期小田原城の遺跡の存在が裏づけていると考えられます。



▲小田原城八幡山古郭東曲輪から見た本丸

小田原城天守閣特別展 伊勢宗瑞の時代

☎小田原城総管理事務所 ☎23-1373

今年は、伊勢宗瑞の没後五百年にあたります。これを記念し、「伊勢宗瑞」にスポットを当てた展示をします。

期 間 10月12日(土)～12月10日(火)
開 館 時 間 9:00～17:00(最終入館16:30)
場 所 小田原城天守閣4階企画展示室(城内6-1)
主な展示資料 興国寺城出土遺物(沼津市教育委員会)
韮山城跡・堀越御所跡出土遺物(伊豆の国市教育委員会)
史跡鉢形城跡出土遺物(鉢形城歴史館)
相国寺旧境内出土遺物(同志社大学歴史資料館)

シンポジウム開催!

最新の研究結果などから伊勢宗瑞をより詳しく知るためのシンポジウムも開催します。

●伊勢宗瑞の伊豆進出

日時 12月1日(日)
13:00～17:00(開場12:00)
場所 市民会館小ホール(本町1-5-12)
講師 家永遵嗣さん(学習院大学)
齋藤慎一さん(江戸東京博物館)
望月保宏さん(静岡古城研究会)
定員 300人・申込先着順

●伊勢宗瑞の小田原進出

日時 12月15日(日)
13:00～17:00(開場12:00)
場所 市民会館小ホール(本町1-5-12)
講師 黒田基樹さん(駿河台大学)
金子浩之さん(伊東市教育委員会)
長塚孝さん(馬の博物館)
定員 300人・申込先着順

申し込み 住所、氏名、連絡先をファクス、メール、電話または申込フォームで
FAX 22-0776 Eメール odawara-castle@city.odawara.kanagawa.jp
申込フォーム <https://hojosoun.com/2019/12/01>

小田原市の
「働く場」。

vol.3
日本新薬株式会社

これがわたしの
お仕事です

市内にある事業所の持つ魅力に、迫ります。

今回紹介してもらうのは、入社11年め **やまし 山地 誠さん**です!



小田原とわたし

料理が好きなので、新鮮な食材が豊富にあつていいですね。片浦レモンを使った料理を作るなど、小田原の食材をたんのうしています。ラーメンもおいしくて、いろいろなお店を食べ歩いています。

お仕事紹介

日本新薬は研究開発型の製薬企業で、医療用医薬品や機能食品の製造・販売をしています。

小田原総合製剤工場では、主力製品である血液がん治療剤や肺高血圧症治療剤をはじめ、高品質で特徴のある、信頼性の高い医薬品を数多く製造しています。

私は製造企画課に所属していて、新たな製品の導入や、工場全体の「見える化」と進捗管理など、工場運営に関わる幅広い仕事をしています。そういった業務の中で、新しい取り組みが軌道に乗っていったときに達成感を感じます。

職場はとてもアットホームな雰囲気、休憩時間には社員みんなに笑顔があふれています。



企業名 日本新薬株式会社 小田原総合製剤工場
所在地 桑原676-1

ここがすごい!「社員に優しい職場」

2017年に完成した新棟は、国内最大級を誇る最新鋭の製造設備を備えています。医薬品製造は、きめ細かい複雑な仕事ですし、業界の環境も目まぐるしく変わってきているので、最新鋭の設備で業務の効率化を図っています。そのため、夜勤はなく、残業もほとんどない、社員に優しい環境になっています。会社として社員を大切にしていって、すごく働きやすいですね。余談ですが、京都本社の社会人野球チームは、毎年のように全国大会に出場するほど強いんです!

お だ わ ら 情 報

10月1日から 消費税率が引き上げられました

WEBID P27750 問 市税総務課 ☎33-1341

10月1日から、消費税・地方消費税の税率が10%に引き上げられ、公共料金や一部の公共施設の使用料が改定されました。

公共料金・公共施設の使用料の改定

●水道料金・下水道使用料

問 水道局営業課 ☎41-1202 下水道総務課 ☎33-1616

水道料金と下水道使用料の消費税率が、10%になりました。ただし10月1日より前から継続して使用している場合は、原則として11月に検針を行った分までは、旧税率(8%)が適用されます。詳しくは、水道局料金センター(☎41-1211)までお問い合わせください。

また、県営水道の水道料金については、神奈川県営水道お客さまコールセンター(☎0570-005959)へお問い合わせください。

●公共施設の使用料

一部の公共施設では、10月1日から消費税率引き上げ分を反映した使用料に改定しました。各施設の窓口やホームページで確認してください。

小田原市立病院 WEBID P27836 問 医事課 ☎34-3175

消費税率引き上げに伴い、診断書料などを改定しました。

2019年10月1日、**消費税・地方消費税の税率は10%^{*}へ。**

※10%のうち2.2%は地方消費税です。

☝ 税率上げは社会保障制度を次世代に引き継ぎ、みんなが安心して暮らせる社会にするために必要です。

☝ 引上げ分は、すべての世代を対象とする社会保障のために使われます。

☝ 家計と景気、両方の視点から対策を実施します。

政府広報 消費税 検索

軽減税率制度が実施されます

「酒類・外食を除く飲食品」や「定期購読契約が締結された週2回以上発行される新聞」には、軽減税率(8%)が適用されます。



▲国税庁ちらし「令和元年10月1日から消費税の軽減税率制度が実施されます」を基に作成

軽減税率制度についての詳しい情報は、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp/>)内の特設サイト「消費税の軽減税率制度について」をご覧ください。



事業者の方へ

消費税率引き上げで困ったときは

消費税率引き上げでは、消費税の転嫁拒否(買いたたき、減額)など、消費税に関連する形での安売り宣伝や広告が禁止されます。転嫁拒否や転嫁阻害表示などで困ったときは、下記の窓口にご相談ください。

●消費税価格転嫁等総合相談センター

- フリーダイヤル
(IP電話を含む固定電話からかける場合)
☎0120-200-040
 - ナビダイヤル(有料)
☎0570-200-123
- 受付時間**
9:00～17:00(土・日曜日、祝日は除く)

「少人数」だからできるたくさんのこと 片浦小学校 令和2年度児童を募集

WEBID P11264 問 教育指導課 ☎33-1684 片浦小学校 ☎29-0250

片浦小学校は、平成24年4月から「小規模特認校」として、一定の条件のもと、市内全域から通学できる学校になりました。

全校児童は95人^{*}。学年の垣根を越えて、皆が仲良くなれる学校です。その子に応じたきめ細やかな学習指導を行える、一人一人に行き届く先生の手があり、恵まれた自然環境と、温かな人間関係の中で生活できます。

※平成31年4月5日現在

募集人数

1年生8人(令和2年4月1日時点の学年)
※多数抽選(兄・姉が在学している場合は、優先枠有り)

入学の条件

- 保護者・児童ともに、市内に居住している。
- 小規模特認校の教育活動、PTA活動に賛同している。
- 通学は、保護者の責任と負担で行う。
- 卒業まで通学する。
- 小規模特認校での就学、通常級での学習や活動ができる。

手続きの流れ

学校公開日

10月28日(月)・29日(火)、11月23日(祝)
※入学希望者は、この日程のいずれかで見学してください。日程が合わない場合は、片浦小学校にお問い合わせください。
※10月28日(月)15:00～16:30は、学校説明会を開きます。

面談

11月1日(金)～29日(金)

申請書の提出(面談終了後)

11月1日(金)～12月2日(月)
※教育指導課に直接提出
※申請書は教育指導課、片浦小学校で配布。市ホームページからダウンロードもできます。

尊徳翁の命日にちなみ 第61回 尊徳祭

WEBID P27744 問 尊徳記念館 ☎36-2381

二宮尊徳翁の命日である10月20日前後に、毎年開催している「尊徳祭」。尊徳翁の教えを日々の暮らしや社会活動に生かす機会となるように、体験型の催しとなっています。

日時 10月19日(土)・20日(日)9:00～17:00

場所 尊徳記念館

【19日(土)】

- 12:10～12:50 オープニングコンサート(栢山混声合唱団)
 - 12:30～15:00 こども報徳市(「報徳楽校」で栽培・収穫した農産物の販売)
 - 13:00～14:20 開会式・「二宮金次郎とわたし」(小学生による作文発表)
 - 14:30～16:00 映画「二宮金次郎」～監督が描きたかった金次郎像～(映画監督の五十嵐匠氏による講演)
- 申込** 生涯学習センター(けやき)☎33-1882)に電話で

【20日(日)】

- 8:00～正午 二宮金次郎柴刈りウォーク(尊徳翁が柴刈りで歩いた道を散策)
申込 尊徳記念館に電話で
- 10:00～11:30 『報徳記』を読もう(尊徳翁の伝記を読み、その功績を学ぶ)
申込 尊徳記念館に電話で
- 10:00～11:30 琴演奏会(つばみの会)
- 10:30～15:00 報徳市(栢山の農産物などを販売)
- 11:30～12:45 柴刈りウォーク歓迎セレモニー(報徳太鼓の会)
- 13:00～13:30 大型スクリーン紙芝居「二宮金次郎物語」(二宮尊徳いろいろクラブ)
- 13:30～15:30 アトラクション(さざなみ会、小田原謡曲連合会、相模人形芝居下中座)

※両日とも、尊徳生家の特別公開とろり燻蒸、展示室の無料開放を実施します。また、地域の小学生の尊徳学習の成果展示などを行います。

くらしのガイド

お | だ | あ | ら | い | ふ |

生活に関連する情報や、市の取り組みなどを掲載しています。市ホームページのサイト内検索に **ID** を入力し検索すると、詳しい内容がご覧になれます。

日…日時 **期**…期間 **時**…時間 **場**…場所 **内**…内容 **対**…対象 **定**…定員 **費**…費用(記載のないものは無料) **持**…持ち物 **出**…出演 **交**…交通 **任**…任期 **選**…選考
額…支給額・謝礼 **講**…講師 **申**…申し込み(期限があるものは必着) **E**…Eメール **ホ**…ホームページ **主**…主催 **関**…関係課 **問**…問い合わせ **ID**…Web検索番号

申込方法のルール ・参加者などを募集する記事で、定員があり申込先着順のものについては、記載がない限り**申込開始日は10月10日(木)から**とします。
・担当部署名の前に**申込**とある場合は、電話で申し込みができます。市外局番がないものは(0465)です。

市役所への郵便物 ・記事に指定がある場合を除き、各記事の担当部署へ郵送する場合は、「〒250-8555 小田原市〇〇課(室)」で届きます。

お知らせ

令和元年度9月補正予算の概要

ID P26542 財政課 ☎33-3313

一般会計補正予算

(6億7,124万7千円追加)

- SDGs普及啓発事業費の計上
- 小田原駅東口図書館・子育て支援施設整備事業費の計上
- 道路・河川・農道等維持管理費の増額
- サブアリーナ屋根改修工事請負費の計上

競輪事業特別会計補正予算

(944万7千円追加)

- 施設現況等調査事業費の計上

この結果、全会計の予算額は、1,612億894万2千円となりました。

【寄附者一覧】(敬省略)

- ふるさと文化基金寄附金(10万円)
 - ・(一社)茶道裏千家淡交会小田原支部
- 市民ホール整備基金寄附金(合計11万1,574円)
 - ・山吹流寿三翁会
 - ・小田原カラオケ連合会
 - ・匿名
- 防災対策基金寄附金(合計15万2,267円)
 - ・月島テクノメンテサービス(株)
 - ・(公社)小田原青年会議所
- 社会福祉基金寄附金(合計44万3,504円)
 - ・小田原盆栽愛好会
 - ・愛光電気(株)
 - ・故 富田一美 遺族 遠藤多加子
- ふるさとみどり基金寄附金(合計22万4,928円)
 - ・小田原庭園業組合
 - ・あいおいニッセイ同和損害保険(株)
- 奨学基金寄附金(50万円)
 - ・匿名

10月は食品ロス削減月間

ID P23961 環境政策課 ☎33-1471

食べられるのに捨てられてしまう食べ物「食品ロス」は、平成28年度に全国で約643万トンも発生しています。できることから取り組んで、食品ロスを減らしましょう。

- ・食材は使いきれ的分だけ買う
- ・料理は食べられる分だけ作る
- ・食材の保存方法を検討する
- ・保存した食べ物を忘れないように、冷蔵庫の中の配置方法を工夫する
- ・外食するときは食べきれ的分だけ注文し、残ってしまったら持ち帰ることができるかお店に確認してみる

読書週間リーフレット

ID P13581 かもめ図書館 ☎49-7800
市立図書館 ☎24-1055

小学生と中学・高校生向けの、おすすめの本を紹介するリーフレットを配布します。

期10月20日(日)～11月9日(土)

場市内の図書館、図書室、図書コーナー
※市ホームページにも掲載

最低賃金の改定

神奈川労働局賃金室 ☎045-211-7354

10月1日から、県最低賃金は、時間額1,011円に改定(28円引き上げ)されました。県内のアルバイト・パートを含む全ての労働者に適用されます。

関産業政策課

地域包括支援センターの土曜開所

ID P03387 高齢介護課 ☎33-1864

平日にセンターに来所することが難しい人が利用しやすくなるよう、10月から、土曜日にも各センターの窓口を開所します。
※平日と異なり、一部対応ができない業務があります。

市立病院救命救急センターの増床工事

ID P27735 経営管理課 ☎34-3175

よりよい医療環境を提供するため、救命救急センター病棟の増床工事を行います。工事期間中は、当院病棟の一部が使用できない他、騒音・振動が発生する日があります。ご理解とご協力をお願いします。

期11月上旬～令和2年3月上旬頃

早川臨時観光案内所がオープン

ID P27866 観光課 ☎33-1521

早川駅からすぐの旧早川支所に、観光情報や見どころを紹介する観光案内所を開設します。大人気の自転車貸出所、レンタサイクル「ぐるりん小田原」も同時開設します。

開所日 10月5日(土)

営業日 年末年始を除く土・日曜日、祝休日の9:30～16:00

●レンタサイクル「ぐるりん小田原」

営業日 年末年始を除く土・日曜日、祝休日の9:30～15:30(最終受付15:00)

費1,000円(電動アシスト付自転車のみ)
※保証金として1,000円(自転車返却時に返金)
※借りた場所に返却

市立図書館臨時休館日

ID P26245 市立図書館 ☎24-1055

図書整理のため、全館休館します。

日10月1日(火)～3日(木)、7日(月)・15日(火)・21日(月)・28日(月)、11月5日(火)、11月11日～12月23日の毎週月曜日、12月28日(土)

共同募金運動(12月31日まで)

共同募金会小田原市支会 ☎35-4000

「赤い羽根共同募金」と「年末たすけあい募金」は、地域福祉活動として県内の社会福祉施設や子ども、高齢者、障がい者に役立てられます。ご協力をお願いします。 **関**福祉政策課

赤十字会員増強運動の結果

ID P27858 福祉政策課 ☎33-1667

5月に行った日本赤十字社による赤十字会員増強運動では、20,497,694円が集まりました。

集まった募金は、日本赤十字社を通じて、災害救援活動・血液事業・医療事業・ボランティア活動など、地域に根ざした活動に役立てられます。ご協力ありがとうございました。

ブロック塀などの撤去費用を補助

ID P03157 防災対策課 ☎33-1855

地震に強いまちをつくるため、一定の条件のブロック塀などを撤去する人に、必要な経費の一部を補助します。
※補助は今年度で終了します。

申請期間 11月29日(金)まで(予算に達し次第終了)

条件 道路、公共施設、幼稚園、保育所などに面していること

補助算定額 ブロック塀などの長さ1m当たり1万円

申防災対策課に直接

※工事着工前に手続きが必要です。

都市計画案の縦覧

都市計画課 ☎33-1572

高度地区の変更 **ID** P27738 と生産緑地地区の変更 **ID** P25398 に係る、都市計画案の縦覧を行います。縦覧期間中は、意見書を提出できます。

期10月15日(火)～29日(火)

8:30～17:15

※土・日曜日、祝休日を除く。

場市役所6階都市計画課

※高度地区の変更の概要は、市ホームページで公開し、各タウンセンター、アークロード市民窓口、都市計画課などで配架しています。

自治会あいさつの日

自治会総連合(地域政策課内) ☎33-1457

11月1日は「全市一斉あいさつ運動の日」です。家の前に出て、道行く人と「おはよう」と挨拶し、地域の人と爽やかな朝を迎えましょう。

日11月1日(金)7:30～8:00

狩猟免許取得・更新経費に係る一部補助

ID P22456 農政課 ☎33-1494

狩猟免許の取得経費(申請手数料、講習会受講料)、更新経費(申請手数料)の一部を補助します。

※この補助金以外に助成を受けている場合は、助成金額などを差し引いた金額になります。 **日**11月1日(金)から

就学援助制度(小学校新入学用品費)

ID P25746 教育指導課 ☎33-1682

令和2年4月に市立小学校へ入学予定の子どもがいる、経済的理由でお困りの世帯に、新入学用品費を支給します。

日12月27日(金)までに、直接

※支給条件などの案内や申請書類は、9月にお送りした就学時健康診断の案内に同封しています。また、市ホームページでダウンロードできる他、教育指導課、市内の幼稚園・保育所などで配布します。

※入学後、引き続き制度の利用を希望する人は、別途申請が必要です。

保険料の納付

ID P25264 ①③保険課 ☎33-1834
②高齢介護課 ☎33-1840

次の保険料の納期限は10月31日(木)です。期限までに納めてください。

- ①国民健康保険料第5期
- ②介護保険料第5期
- ③後期高齢者医療保険料第4期

10月の納税

ID P01397

納付関係 市税総務課 ☎33-1345
課税内容 市民税課 ☎33-1351

10月31日(木)は、個人市民税・県民税(第3期)の納期限です。期限までに納めてください。口座振替をご利用の人は、納期限の前日までに預貯金残高をご確認ください。

※土・日曜日、祝休日の納税は、マロニエ住民窓口、アークロード市民窓口、コンビニエンスストアをご利用ください。ただし、納付書が必要です。

お知らせ

固定資産税の変更

ID P18577
資産税課土地評価係 ☎33-1365
家屋評価係 ☎33-1371

土地や建物の用途・形状に変更が生じた場合は、来年度の税額が変わる可能性があるので、ご連絡ください。
※土地の登記異動(分筆、地目変更、地積更正など)に伴い税額が変わることもあります。

年末調整等説明会

ID P25919
年末調整・法定調書(小田原税務署) ☎35-4511
給与支払報告書(市民税課) ☎33-1354

小田原地区の事業所を対象に、年末調整のしかたと、法定調書・給与支払報告書の作成方法を説明します。
日 11月15日(金)13:30～16:00
※用紙配布は13:00～13:30
場 けやき2階けやきホール
※別地区での説明会は、小田原税務署へお問い合わせください。

公的年金からの住民税の特別徴収

ID P27732 市民税課 ☎33-1351

平成30年4月3日から平成31年4月2日までに65歳の誕生日を迎えた人は、10月支給分の公的年金から住民税(市県民税)が特別徴収(差し引き)になります。これは法令に基づく納付方法の変更で、年税額が増えるものではありません。
また、特別徴収される税額は、公的年金などにかかるもので、対象となる年金は、老齢または退職を支給事由とする年金(老齢基礎年金など)です。

国民年金保険料の控除証明書

ID P01816 小田原年金事務所 ☎22-1391

国民年金保険料は、納付額全額が社会保険料控除の対象です。11月上旬に、日本年金機構から、年末調整や確定申告で必要な控除証明書が送られます。
※10月1日以降に、今年初めて保険料を納付した人には、令和2年2月上旬に送付 関保険課

この宝くじの収益金は市町村の
住みよいまちづくりに使われます。

1枚300円

9月24日(火)発売!!

オンライン宝くじ

(公財)神奈川県市町村振興協会

募集

学校給食物資の納入業者申請

ID P27628 学校安全課 ☎33-1693

期 12月3日(火)～16日(月)の平日
対 生鮮食品全般・調味料・乾物類 他
申 学校安全課または市ホームページにある申請用紙に必要事項を書いて、直接または郵送で
※食材により、納入組合への加入が必要

令和2年度放課後児童クラブ

ID P27869 教育総務課 ☎33-1731

対 令和2年度に小学1～6年生になる児童で、同居する保護者の就労などで放課後に家庭での見守りを受けれない児童
日 10月21日(月)～12月13日(金)に、教育総務課、各放課後児童クラブで配布、または市ホームページにある申込書を直接、または郵送で
※審査の結果や定員超過により、入所できない場合があります。

おだわら自然楽校

ID P27783 青少年課 ☎33-1724

子どもが抱く自然に対する疑問を、遊びやゲームを通じて学びます。
日 11月2日(土)9:30～16:30
場 いこいの森周辺
対 青少年育成に関心のある高校生以上30人・申込先着順 費 1,500円
申 10月25日(金)までに、電話で

10月は里親月間

ゆりかご園家庭養育支援センター ☎48-4921

「里親制度」とは、さまざまな事情で自分の家庭で生活できなくなった子どもを、里親の家庭に迎え入れ、養育し、子どもの「心身ともに健やかに育つ権利」を守る制度です。

●里親講座
日 10月25日(金)10:00～12:00
場 児童養護施設ゆりかご園
内 里親制度の説明、里親体験談
申 小田原児童相談所(☎32-8000(代))
関 子育て政策課

ファミリー・サポート・センター支援会員

申込 ファミリー・サポート・センター ☎35-0053

育児の援助を希望する人(依頼会員)に対して、育児の援助をする人(支援会員)を募集します。支援会員を希望する人は、研修会にご参加ください。
日 11月6日(水)～8日(金) 13:00～17:00(全3回)
場 けやき4階第3会議室
対 市内在住・在勤・在学で心身ともに健康で積極的に援助活動を行うことができる人25人・申込先着順
※託児・要相談
日 10月23日(水)までに、電話で
関 子育て政策課

講座「地域の歴史を調べようー足柄平野の梨業調査からー」

ID P27595 申込 郷土文化館 ☎23-1377

日 11月30日(土)14:00～16:00
場 UMECO会議室4
定 35人・申込先着順
講 遠藤孝徳さん(松田町文化財保護委員)
共催 小田原史談会

下水道排水設備工事責任技術者試験および更新講習会

ID P27572 下水道総務課 ☎33-1614

①責任技術者試験
日 令和2年2月6日(木)
場 川崎市教育文化会館
②更新講習会
日 令和2年1月21日(火)～23日(木)で希望する日
場 サンピアンかわさき
費 各5,200円
日 11月29日(金)までに、申込書類の指定先に郵送で(当日消印有効)
※申込書は、①10月8日(火)～11月15日(金)に下水道総務課で配布
②対象者に10月中旬以降郵送

シニア向け会社・団体合同就職説明会

ID P27878 生涯現役推進協議会(企画政策課内) ☎33-1318

シニアの雇用・就労に積極的な会社・団体から募集内容を聞き、個別相談の場を設けます。
日 10月23日(水)14:00～16:00
場 UMECO会議室1・2
対 市内在住または市内での仕事・ボランティアに興味がある、おおむね55歳以上の人50人・申込先着順
日 10月21日(月)までに、電話または市ホームページで

事業者向け2Daysセミナー

ID P27749 生涯現役推進協議会(企画政策課内) ☎33-1318

高齢者雇用の成功事例の紹介や、その活用対策と課題を解説します。

①成功事例の紹介
日 11月8日(金)14:00～16:00
場 UMECO会議室1・2
講 橋本美奈子さん(日本濾水機工業(株)代表取締役社長)
松橋卓司さん((株)メトロール代表取締役社長)
②講演
日 11月13日(水)14:00～16:00
場 UMECO会議室5・6
内 「高齢者雇用を巡る活用対策とその周辺の問題」
講 大谷宏さん(大谷経営コンサルタント・社会保険労務士事務所)
対 シニアの雇用に興味のある事業者や、おおむね55歳以上の人50人・申込先着順
日 電話または市ホームページで

小田原玉ねぎを作ってみよう!

申込 NPO法人小田原食とみどり ☎080-5385-0465

甘みの強い玉ねぎ「ソニック」を農業化学肥料不使用で栽培し、収穫します。
※苗は150本
日 植付 12月1日(日)10:00～12:00
※令和2年3月29日(日)、5月16日(土)にも活動予定
場 曽我みのり館
定 50家族・多数抽選
費 4,000円
日 11月1日(金)までに、電話またはホームページで
ホ <http://shoku-midori.or.jp/>

援農者育成「Re農地」講座

申込 農地活!片浦事務局・帰山 ☎080-4612-8420

「農」に関する知恵や技術を、座学と実践で学びます。
日 ①10月18日(金)18:30～20:30
②10月26日(土)10:00～16:00
③11月 9日(土)10:30～15:00
場 ①UMECO会議室6②③根府川地内(参加者に別途通知)
定 各15人・申込先着順
費 ①②各1,000円③3,000円
日 各開催日の2日前までに、メールまたは電話で
日 kataura55sep@gmail.com
ホ <https://kataurapro.wordpress.com/>
※本講座は連続講座ですが、1回のみ参加もできます。
関 農政課

小田原まちあるき

申込 小田原ガイド協会 ☎22-8800

①小田原宿「通り9町」甲州道「脇6町」のなりわい散歩、伝統工芸と老舗店舗の店主と交流
日 10月18日(金)9:30～12:00
集合 小田原駅地下街ハルネウメまる広場(9:30)
②国府津から箱根へ小田原馬車、電気自動車の軌跡 完全踏破 2日間
①国府津駅～小田原駅まで
日 10月19日(土)9:00～13:00
集合 JR国府津駅前(9:00)
②小田原駅～箱根湯本駅まで
日 10月26日(土)9:00～13:00
集合 JR小田原駅東口二宮金次郎像前(9:00)
③国府津の文化遺産めぐり
日 11月10日(日)9:00～14:30
集合 JR国府津駅改札口(9:00)
①～③共通
定 ①15人②60人③60人・申込先着順
※ペット同伴不可
費 ①1,000円②700円(保険料、資料代含む)③1,000円(保険料、資料代、お土産代含む)
持 飲み物、雨具、歩きやすい靴と服装、保険証(写し可)
※③弁当(雨天決行時昼食なし)
※雨天決行

募集



育てよう!読書の木

ID P21347 かもめ図書館 ☎49-7800

葉っぱの形をしたカードに、お気に入り
の本のタイトルを書き、図書館内に大き
く描かれた木に貼って、皆で「読書の木」
を育てましょう。期間中に、カードを10
枚書くと、しおりをプレゼントします。

対小学生以下

申10月10日(木)～11月23日(祝)に直接

「読書の木」展示

期12月27日(金)まで

場かもめ図書館児童コーナー

主事業協会

かながわにじいろトーク

申込NPO法人SHIP ☎045-306-6769

10・20歳代の性的マイノリティの人を
対象に、交流会を開催します。

日①10月12日(土)②11月17日(日)
14:30～16:30

場市内公共施設(詳しくは、申込者に連絡)

内①「コミュニティ」②「セクシュアリティ」

費300円(茶菓子代。高校生以下無料)

申①前日②11月15日(金)の17:00まで

に、「かながわにじいろトーク」で検索
してホームページから申し込み、また
は電話で ※申込先着順

関人権・男女共同参画課

人権を考える講演会

ID P27727 申込人権・男女共同参画課 ☎33-1725

テレビのコメンテーターなどで活躍す
る大崎麻子さんから、女性の視点でこ
れからの地域防災について、話を聞き
ます。

日10月29日(火)
13:30～15:00

場けやきホール

定400人・申込先着順

申電話で

※託児有り。10月11日(金)までに要
予約(2歳以上就学前まで。おやつ
代など100円)



救命講習(普通・上級)

ID P00490 救急課 ☎49-4441

①普通救命講習

成人の心肺蘇生法とAEDの取り扱い
について学びます。

日11月30日(土)9:30～12:30

場開成町民センター

②上級救命講習

応急手当全般を学びます。

日11月9日(土)9:30～18:30

場大井町生涯学習センター

①②共通

対中学生以上(市消防管内に在住・在
勤・在学の人を優先)①20人②15
人・申込先着順

申電話(平日9:00～17:00)で予約後、
①11月20日(水)②10月31日(木)ま
でに、申請書を最寄りの消防署所へ
直接

おだわら女子のリアル! ～仕事や家庭をホンネで語ろう～

ID P27728 人権・男女共同参画課 ☎33-1725

ライフステージによって働き方を変えざ
るをえない女性たちが、仕事や家庭に
ついて自由に語り合う女子会です。意
見は今後策定する、女性活躍推進アク
シオンプログラムに生かします。

日①10月10日(木)10:00～12:00

②10月12日(土)11:00～13:00

③10月19日(土)13:30～15:00

④10月25日(金)13:30～15:30

場①マロニエ子育て支援センター

②なりわい交流館

③マロニエ3階集会室301

④おだびよ子育て支援センター

申①②④事前申込不要③直接または
メールで

Ejinken@city.odawara.kanagawa.jp

※③のみ託児有り(2歳以上就学前ま
で。10月11日(金)までに事前申込)。

労働講座「働き方改革と ワークライフバランス」

ID P27748 申込産業政策課 ☎33-1514

働き方改革の知識を深める講座です。

日11月13日(水)19:00～20:30

場UMECO会議室7

定25人・申込先着順

講押本靖貴さん(神奈川働き方改革推
進支援センターアドバイザー・特定社
会保険労務士)

市営住宅入居者

ID P27739 建築課 ☎33-1553

対一定の要件(所得制限、市税の滞納
がない、市内1年以上在住、単身者の
年齢制限など)を満たす人

募集予定戸数 約20戸

家賃 住宅の築年数や間取り、入居す
る世帯の所得で毎年度決定

敷金 入居時の家賃の3か月分
※風呂釜・浴槽設置は入居者負
担(浅原住宅を除く)

公開抽選 11月下旬(予定)

入居手続き 連帯保証人一人の印鑑
登録証明書などの書類
を提出

入居許可日 令和2年2月1日(土)
※鍵渡しは令和2年1月
29日(水)・30日(木)

申込用紙 10月15日(火)～11月7日
(木)に市役所、各タウ
ンセンター住民窓口、アーク
ロード市民窓口で配布

申込期間 10月31日(木)～11月7日
(木)9:00～17:00
※11月2日(土)・3日(祝)は
9:00～12:00

※11月4日(休)は受付なし

申申込用紙に必要な事項を書き、住民票
や所得証明など必要書類を添えて、
本人または入居家族が直接(申込時
に受付審査をします。)

※次回の募集は、令和2年6月です。

健康安全運転講座

ID P27833 申込高齢介護課 ☎33-1826

高齢者が安全運転で長く車に乗れるよ
う、神奈川ダイハツ販売・理学療法士
会・JAFによる講座です。

日11月18日(月)13:00～15:00

場神奈川ダイハツ販売国府津店

対市内在住の65歳以上の人20人程
度・申込先着順

申11月5日(火)までに、電話で

認知症サポーター養成講座

ID P18188 申込高齢介護課 ☎33-1864

認知症について学びましょう。

日①10月24日(木)14:00～16:00

②11月15日(金)10:00～12:00

場①尊徳記念館1階視聴覚室

②こゆるぎ2階こゆるぎホールA

対市内在住・在勤・在学の人各30人・
申込先着順

講キャラバン・メイト

申各前日までに、電話で

生ごみ地域サロン

ID P04275 環境政策課 ☎33-1471

生ごみ堆肥化に興味がある人、新しく
始めてみたい人、すでに取り組んでい
る人が情報交換する場です。段ボール
コンポストの新規登録・基材販売も行
います。

日時	場所
①10月18日(金)	こゆるぎ2階ホールBC
②10月20日(日)	マロニエ2階集会室203
③10月21日(月)	けやき4階第2会議室
④10月24日(木)	県営小八幡団地集会所
⑤10月25日(金)	梅の里センター会議室AB
⑥10月28日(月)	生活クラブ生協小田原
⑦11月 6日(水)	板橋公民館
⑧11月12日(火)	いずみ2階集会室201
⑨11月16日(土)	尊徳記念館3階講堂

時14:00～15:30

※②⑥⑨は10:30～12:00

持⑥以外は500mlのペットボトル

市立病院職員(正規職員)

ID P00380 経営管理課 ☎34-3175

令和2年度に採用する、作業療法士の
採用試験を行います。

試験日

●1次試験(小論文・専門)

11月17日(日)

●2次試験(面接)

1次試験合格者に通知する日

対新卒者(資格取得見込み者)

令和2年3月までに資格取得見込み
の人

既卒者(有資格者)

昭和62年4月2日以降生まれの人

定若干名

申11月7日(木)までに、所定の申込用
紙に必要な書類を添えて直接または郵
送で

〒250-8558 小田原市久野46

※詳しくは、市ホームページをご覧くだ
さい。

基準緩和型サービス従事者研修

ID P19446 申込高齢介護課 ☎33-1826

修了者は、介護予防・日常生活支援総
合事業のサービスに従事できます。

日11月15日(金)9:30～17:45

場いそしぎ第1技能訓練室

定20人・申込先着順

申11月8日(金)までに、直接または電話で

食で生き生き!栄養教室

ID P03391 申込高齢介護課 ☎33-1826

筋肉をつけるために効果的な栄養素の
取り方に関する講話と、調理実習を行
います。男性の参加も歓迎です。

日①11月 8日(金)10:00～13:00

②11月26日(火)10:00～13:00

場①マロニエ調理室②前羽福祉館

対市内在住の65歳以上の人①20人程
度②10人程度・申込先着順

費500円(材料費)

持エプロン、三角巾、ふきん

申10月31日(木)までに、電話で

共催 小田原創友クラブ

脳トレ!脳と体の生き活き教室

ID P17356 申込高齢介護課 ☎33-1826

ウォーキングなどの脳の活性化に効果
が期待できる有酸素運動を中心に、頭
脳ゲームなど頭と体を刺激します。楽し
みながら認知症予防に必要な知識を習
得する教室です。

日①12月10日～令和2年3月10日の
火曜日14:00～16:00(全12回)

②12月12日～令和2年3月5日の木
曜日14:00～16:00(全12回)

場①梅の里センター大会議室

②小田原アリーナ大会議室

対市内在住の65歳以上の人各30人・
申込先着順 費1,500円(保険料)

申10月15日(火)～11月15日(金)に、電
話で

高齢者体操教室

ID P03389 申込高齢介護課 ☎33-1826

音楽に合わせての運動を中心に、運動
機能の維持・向上を図ります。

①いそしぎ

日12月2日～令和2年3月23日の毎
週月曜日13:30～15:00

②おだわら総合医療福祉会館

日12月3日～令和2年3月24日の毎
週火曜日13:30～15:00

③小田原スポーツ会館

日12月4日～令和2年3月25日の毎
週水曜日12:30～14:00

④梅の里センター

日12月5日～令和2年3月26日の毎
週木曜日10:00～11:30

①～④共通

対市内在住の65歳以上の人①②各60
人③④各40人・多数抽選

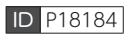
申11月8日(金)までに、電話で

※申し込みは、一人1会場まで。

※医師から運動を止められている人、
「65歳からの筋トレ教室」に参加して
いる人は、参加できません。

募集

家族介護教室

 P18184  高齢介護課 ☎33-1864

 11月13日(水)10:00～12:00

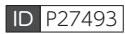
 マロニエ2階集会室203

 介護保険制度・サービス

 高齢者を介護している家族、介護に関心のある人25人・申込先着順

 前日までに、電話で

高齢期の知っとくいきいき講座

 P27493  高齢介護課 ☎33-1826

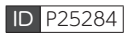
シニア向けに、転倒予防のための整理収納と室内整備のセミナーを開催します。すっきり暮らす研究会との、市民提案型協働事業です。

 11月20日(水)10:00～11:30

 尊徳記念館研修室301

 市内在住の65歳以上の人20人・申込先着順

お口のスキルアップ教室

 P25284  高齢介護課 ☎33-1826

食事中にむせる、飲み込みが悪い、口の中が湿くといった症状について、知識や改善方法を学びます。

 11月7日(木)14:00～15:30

 こゆるぎホールA・B

 市内在住の65歳以上の人50人・申込先着順

 筆記用具、老眼鏡、手鏡

 吉田太一さん(歯科医師) 他

 10月25日(金)までに、電話で

市民活動応援補助金 交付事業

UMECO ☎24-6611

市が、市民活動の活性化を図るため、資金面で応援します。令和2年度の補助金を希望する団体を募集します。

今年度から、UMECOが事前相談や申請などの窓口になりました。

対象団体

- 市を中心に市民活動を行い、今後も継続する見込みがある団体
- 3人以上で構成され、営利を目的としない団体

 額	スタートアップコース	事業費の100%以下で、10万円が上限 ※1団体につき1回限り
	ステップアップコース	プランA 事業費の70%以下で、20万円が上限 プランB 事業費の50%以下で、30万円が上限

 12月13日(金)までに、申請書類を直接

※事業費は、国・県・他の地方公共団体の補助金などを控除した額

※詳しくは、UMECO、市内公共施設、ホームページにある「応募の手引き」をご覧ください。

 <http://umeco.info/>

シルバー人材センター 入会説明会

 シルバー人材センター ☎49-2333

説明後、就業相談を行い、高齢者にふさわしい仕事を紹介します。

 11月8日(金)9:30～11:30

 UMECO会議室3

 市内在住の健康で働く意欲のある60歳以上の人20人・申込先着順

 10月31日(木)までに、直接または電話で

 高齢介護課

傾聴ボランティア講座

 社会福祉協議会 ☎35-4000

「傾聴」を学び、高齢者と交流するボランティアを育成する講座です。

 11月6日～11月27日の毎週水曜日10:00～12:00(全4回)

 おだわら総合医療福祉会館4階

 ボランティア活動を希望する人30人・申込先着順

 鈴木しげさん(NPO法人シニアライフセラピー研究所理事長)

 福祉政策課

企業・NPO・学校の つながり2019in小田原

UMECO ☎24-6611

地域課題の解決に向け、多様な主体が連携するきっかけづくりの場です。

 10月30日(水)13:00～17:00

 UMECO会議室1～3

 事例発表、ワークショップ

 地域課題の解決に向けた取り組みに関心のあるNPO、企業、学校関係者など70人・申込先着順

 10月28日(月)までに、直接または電話で

 <http://umeco.info/>

共催 神奈川県

パブリックコメント(市民意見)

 P04405 広報広聴課 ☎33-1263

条例などの案と意見記入用紙は、担当課、タウンセンター、図書館などに配架する他、市ホームページに掲載します。

 期間内に、担当課まで直接、郵送、ファクスまたは市ホームページの投稿フォームで

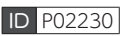
意見提出期間

10月15日(火)～11月13日(水)

条例などの案の題名	担当課・係
(仮称)小田原市民ホール条例の制定	文化政策課 市民ホール整備係
小田原市民会館条例等の廃止	☎33-1702
小田原市指定給水装置工事事業者規程の一部改正	給水課 給水装置係 ☎41-1231
小田原市開発事業に係る手続及び基準に関する条例審査基準の一部改正	開発審査課 開発相談係 ☎33-1574

相談

若者就活なんでも相談

 P02230  産業政策課 ☎33-1514

就職活動の悩みや不安に、キャリアカウンセラーが助言します。応募書類の添削や、面接練習もできます。

※求人紹介はしません。

 ①11月22日(金)②12月27日(金)

①10:00～②11:00～③13:00～

④14:00～⑤15:00～⑥16:00～

 市役所4階産業政策課

 39歳以下の人各日6人・申込先着順

 ①10月25日(金)②11月22日(金)から、直接または電話で

補装具の巡回更生相談

 P03568  障がい福祉課 ☎33-1467

身体障がい者の補装具に関する相談を受けます。

 10月7日、11月11日、12月9日、令和2年1月20日、2月10日、3月9日の月曜日13:00～14:00

 いそしぎ2階

 装具、車椅子などの再交付や修理を希望する人

 事前に、直接または電話で

各種相談

●市民相談<11月> 地域安全課 ☎33-1383

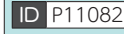
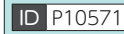
 市役所2階地域安全課(土・日曜日、祝休日を除く)

一 般	離婚、相続、近隣トラブルなど日常生活上の軽易な問題に関する相談	月～金曜日	9:00～12:00 13:00～16:00
心配ごと	家庭や地域で困ったこと、悩み事に関する相談	毎週月曜日	13:30～15:30
法 律 (予約制)	離婚、相続、多重債務などの法律問題に関する相談(予約は2週間前から)	毎週水曜日	13:30～16:00
人権擁護	嫌がらせ、名誉き損、プライバシーの侵害などに関する相談	12日(火)	13:30～15:30
司法書士	相続・贈与などの登記手続き、成年後見、遺言書の作成などに関する相談	14日(木)	13:30～15:30
税 務	相続・贈与・譲渡所得税などの税金に関する相談(6人・当日先着順)	19日(火)	13:30～15:30
行政苦情	国・県・市への要望や苦情	21日(木)	13:30～15:30
宅地建物取引	不動産の売買など取引、賃借などに関する相談	28日(木)	13:30～15:30

 マロニエ2階集会室203

行政書士	相続・遺言、成年後見、各種許認可申請などの作成・手続きに関する相談	16日(土)	14:00～16:00
------	-----------------------------------	--------	-------------

●その他の相談

消費生活相談 消費生活センター ☎33-1777	消費生活に関する苦情や問い合わせなど、お気軽にご相談ください。電話でもお受けします。  月～金曜日(祝休日を除く)9:30～12:00、13:00～16:00  消費生活センター(市役所2階地域安全課内)  小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町に在住・在勤・在学の人
教育相談 教育指導課 ☎33-1685	市内在住の小・中学生に関するさまざまな相談をお受けします。 ●教育指導課相談電話  P02038 ☎33-1729  月～金曜日8:30～17:15 ●特別支援教育相談室あおぞら  P21680 ☎46-9020  月～金曜日9:00～16:00
女性相談  P11082 人権・男女共同参画課 ☎33-1737	夫や親しい男性とのトラブルなど、女性が抱える悩みを相談員がお受けします。  月・水・木・金曜日9:30～11:30、13:00～16:30 ※全国共通ナビダイヤルでも対応しています。 ここにでんわ 内閣府男女共同参画局DV相談ナビ ☎0570-0-55210
青少年相談  P10571 青少年課 ☎23-1482	ひきこもりや若年無業者(ニート)、不登校、親子や友人との関係などの問題で悩む子ども、若者(30歳代まで)やその保護者からの相談をお受けします。  月～金曜日(祝休日を除く)9:00～12:00、13:00～17:00  青少年相談センター(城山4-2-11)

イベント

月例イベント

屋のミニコンサート

ID P03885 文化政策課 ☎33-1706

秋の屋下がりピアノコンサート

日10月23日(水)12:20～12:40

場市役所2階談話ロビー

出宮崎香織さん
(ピアノ)



曲目 剣の舞、「黒い瞳」の主題による
幻想曲 他

※プログラムは変更になることがあり
ます。

かもめ名画座

ID P14250 かもめ図書館 ☎49-7800

思い出の映画をお楽しみください。

日10月18日(金)13:30～(開場13:10)

因「彼岸花」(1958年・118分)

監督 小津安二郎

出演 有馬稲子 他

定120人・当日先着順

協力 かもめ図書館フレンズ

※かもめ図書館フレンズでは、映画会
ボランティアを募集しています。興
味のある人は、当日、会場まで。

わんぱくらんど

わんぱくらんど ☎24-3189

●竹細工教室

昔懐かしい遊び、竹とんぼやぶんぶ
んゴマを作って、芝生広場で遊びま
しょう。

日毎週土・日曜日

9:30～12:00、13:00～15:00

※実施しない日もあります。

場冒険の丘 費400円(材料費)

フラワーガーデン

フラワーガーデン ☎34-2814

●朝市(売切次第終了)

日毎週日曜日10:00～15:00

●なるほど園芸講座

10月のテーマは「土壌と肥料」。家
庭の園芸植物の相談は11:30～
12:00の「みどりの相談所」で受けま
す。

日毎月第3日曜日10:30～11:30

講大坪孝之さん(日本梅の会会長)

二宮尊徳生家のいろり燻蒸

ID P07325 尊徳記念館 ☎36-2381

二宮尊徳生家の保全のため、いろりに
火を入れて、けむり燻蒸を行います。
二宮尊徳いろりクラブのメンバーが
生家の由来や周辺の史跡などについ
ても説明します。

日10月26日(土)、11月9日(土)

9:00～11:30 ※見学自由

場二宮尊徳生家(尊徳記念館隣)

上府中公園

上府中公園管理事務所 ☎42-5511

●おもちゃ作り教室

日10月6日(日)・20日(日)

10:00～12:00、13:00～15:00

場親水広場 ※雨天中止

対小学生以下

費100～400円(材料費)

※作るものにより異なります。

●カミイチ(かみふなかクラフト市)

手作りのクラフト品を中心に出店し
ます。詳しくは、ホームページで。

日10月26日(土)10:00～16:00

※荒天中止

ホ[https://www.facebook.com/](https://www.facebook.com/kamiichi2012)
kamiichi2012

UMECO

UMECO ☎24-6611

●ティーサロン

深まる秋の中、学生たちとお茶を楽
しみながら、皆で楽しく交流しまし
ょう。

日10月12日(土)13:00～16:00

場UMECO活動エリアA1～3

費300円(茶菓子代)

主学生ボランティアグループ
「S.P.A.C.E.J」・UMECO

●UMECO企画展

市民活動団体の活動の成果などを
展示します。

●県立小田原養護学校作品展

期10月25日(金)～11月1日(金)

●小田原五行歌会一周年記念作品展

期11月2日(土)～10日(日)

場UMECO多目的コーナー・ホワイエ

ホ<http://umeco.info/>

小田原競輪開催日

事業課 ☎23-1101

●富山(FI)場外

日10月16日(水)・17日(木)

●神奈川新聞社杯(FI)

期10月16日(水)～18日(金)

●福井(FI)場外

日10月24日(木)・25日(金)

●熊本記念in久留米(GⅢ)場外

期10月24日(木)～27日(日)

●万葉の湯カップ(FⅡ)

期10月26日(土)～28日(月)

●広島(FI)場外

期10月28日(月)～30日(水)

●別府(FI)場外

期10月29日(火)～31日(木)

●小田競・サイクル杯(FⅡ)

期11月1日(金)～3日(祝)

●防府記念(GⅢ)場外

期11月1日(金)～

4日(休)



10/11(金)～14(祝) シダ(羊歯)植物展

フラワーガーデン ☎34-2814

シダの鉢植え・標本・アートフラワー・シ
ダグッズなど、11年間の研究の成果を
中心に、シダ植物を展示します。

時10:00～16:00(14日は15:00まで)

出展 小田原シダ研究グループ

●講演会

日10月13日(日)13:00～15:30

定50人・当日先着順

講中池敏之さん(元国立科学博物館研究官)

①10/12(土)②19(土) 小田原かまぼこ通り活性化協議会& NPO法人mama's hugコラボイベント

小田原かまぼこ通り活性化協議会

☎080-9541-6914

NPO法人mama's hug ☎20-6898

商業者と子育て団体による、コラボイベ
ントを開催します。

①魚河岸市&mama job サミット

新鮮な野菜や干物、全国宿場駅の駅
弁を販売し、子どもが運営するキッズ
フリマも開催します。今回は、NPO法
人mama's hugとのコラボ企画とし
て、mama jobサミットも同時開催。
ママによる出店や、ママ向けの在宅
ワークなどのセミナー(見守り託児ス
ペース有り)もある、子どもとママ向
けのイベントです。

時10:00～16:00

場小田原宿なりわい交流館と周辺道路

関商業振興課・子育て政策課

②魚河岸市

新鮮な野菜や干物の販売に加え、宿
場フリーマーケットを開催します。暮ら
しに役立つ掘り出し物がいっぱい!今
回初めて参加する干物屋特製の、小
田原宿場弁当も限定で販売します。

時10:00～16:00

場小田原宿なりわい交流館と周辺道路

関商業振興課

ホ<https://www.odawarakamabokodori.com/>
<https://www.mamashug.net/>

10/19(土) 下水道ふれあいまつり

県下水道公社企画課 ☎0463-55-7438

下水道への理解と関心を深めてもらう
ため、下水処理場施設を開放して、祭り
を開催します。

日10:00～15:00(スタンプラリー受付
は14:30まで)

場扇町しらさぎ広場(扇町6-828)

因下水処理場見学、下水道学習室、模擬
店、ゲーム、地域演奏団体の発表 など

10/19(土)・20(日) 生きがいふれあいフェスティバル

ID P25552 福祉政策課 ☎33-1667

作品展や体験コーナーがあり、子ども
から高齢者まで楽しめる2日間です。介
護予防と終活の講座も開催します。

時10:00～16:00(20日は15:00まで)

場いそしぎ・保健センター

10/19(土) 無住庵復元工事見学会(木工事)

ID P27723 申込 郷土文化館 ☎23-1377

松永記念館に復元中の「無住庵」の見
学会です。柱や梁の組み方などを見る
ことができます。

時①10:00～10:30②11:00～11:30

場松永記念館(板橋941-1)

定各回15人・申込先着順

10/20(日)・27(日) 黒枝豆などの収穫体験

夢みるみどりの探検隊 ☎36-3604

6月に種をまいた黒枝豆と、苗を植えた
さつまいもの収穫を体験します。予約
不要。直接お越しください。

時9:00～11:00 ※雨天中止

場フラワーガーデン前の畑

せいかにてい 清閑亭

申込 清閑亭 ☎22-2834

場清閑亭(南町1-5-73)

11:00～16:00開館 ※火曜休館

①おだわら「語り道」

浪曲好きの小田原文化レポー
ター備堂能満さんが、独自の視
点と語り口でまちを案内します。

日10月14日(祝)10:00～12:40

定20人・申込先着順

費2,000円



②和文化・室礼展2019

華、漆、陶、日本画、岡、書、香炉な
どの装飾美術を専門にする芸術
家の展示会です。伝統美術の今
をお楽しみください。

期10月26日(土)～11月10日(日)



③北原白秋の童謡のさんぽ道

小田原を愛した白秋が毎日のよう
に歩いた散歩道を、ソプラノ歌手橋
本京子さんと歌いながら巡ります。

日11月4日(休)13:30～16:00

定30人・申込先着順

費2,500円



④小田原ゆかりの陸海軍

トレッキングツアー

やまがたありとも
山縣有朋や秋山真之ゆかりの地
を巡るまち歩きです。昼食は海軍
カレーをお楽しみください。

日11月10日(日)11:30～15:00

定40人・申込先着順

費3,500円

(海軍カレー

昼食付き)



イベント

フラワーガーデン

申込▶フラワーガーデン **☎**34-2814
※月曜日休園(祝休日の場合は開園し、翌火曜日休園)

●現代押し花アート展

色を長持ちさせる特別な技法を用いた押し花の展示です。

期10月5日(土)～20日(日)
9:00～17:00
(20日は14:00まで)

出展 日本レミコ押し花学院

●ハッピーハロウィンウィーク

おだわら諏訪の原公園と合同で、「ハロウィンスタンプを集めて、まほうつかいに変身しよう!」を開催。土・日曜日には、「ハロウィンリース作り」などのイベントを開催します。

期10月19日(土)～31日(木)

●秋のローズフェスタ

秋バラの開花に伴い、バラのミスト、シュシュ、バスボム、練り香水作り、バラ園ガイドツアーの他、11月4日は鈴木あさみさんのマリンバコンサートなど、各種イベントを開催。ローズ製品の販売も行います。

期10月19日(土)～11月24日(日)

●プチ軽トラ市

小田原・足柄地区の生産物・加工品を生産者が対面販売。小田原産の有機野菜や原木しいたけなど、地元の品物を多数用意します。

日11月2日(土)・9日(土)・16日(土)
10:00～15:00

※雨天中止、なくなり次第終了

10/20(日) 一夜城まつり

観光協会 **☎**22-5002

豊臣秀吉の天下統一の拠点となった国指定史跡・石垣山を舞台に、小田原合戦にまつわるエピソードをもとにした「一夜城まつり」を開催します。

時10:00～15:00 **場**石垣山一夜城

10/22(祝) ハロウィンパーティー

ID P27730 **申込** 小田原海外市民交流会事務局(文化政策課内) **☎**33-1703

海外姉妹都市アメリカ・チュラビスタ市のハロウィン紹介や飾りづくり、仮装やお菓子を食べて楽しめます。

時10:00～11:30

場UMECO会議室1～3

定40人 **※**小学生以下は保護者同伴 **費**500円(3歳～小学生は200円)

申10月18日(金)17:00までに、電話で

①10/26(土)②27(日) おもちゃ電車ぶらばあく

わんぱくらんど **☎**24-3189

昔懐かしい青いレールの上を走る、おもちゃ電車がやってきます。市内を走る電車が勢ぞろいします。

時①11:00～16:00②10:30～15:30

場わんぱくらんどエントランス広場

10/26(土)・27(日) 生涯学習フェスティバル

ID P27726 **生涯学習フェスティバル実行委員会** **☎**33-1881

生涯学習活動を行っている団体が、日頃の活動内容を発表します。

時10:00～16:00(27日は15:00まで)

場けやき

内舞台発表、展示発表 他

10/26(土) かながわ消防フェア2019in小田原城

ID P27839 **消防総務課** **☎**49-4416

「見る!」「ふれあう!」「味わう!」をテーマに、消防を体感できます。

時12:00～15:00

場小田原城址公園二の丸広場

10/26(土) かぼちゃランタンづくり

わんぱくらんど **☎**24-3189

本物のかぼちゃを使って、オリジナルランタンを作ります。

時10:00～11:30

場わんぱくらんど西管理棟

定15人・申込先着順 **費**500円

申10月10日(木)から、電話またはメールで

Ewanpaku@odawara-jigyo-kyokai.jp

10/26(土) おだわらハロウィン2019

商店街連合会 **☎**22-5961

仮装パレード、仮装コンテスト、スタンプラリーなどハロウィンを楽しめるイベントが盛りだくさんです。コンテストのグランプリには、豪華賞品を贈呈。ぜひ、仮装してご参加ください。

時10:00～17:00

場小田原城址公園本丸広場

※詳しくは、ホームページをご覧ください。

ホhttp://www.0465.net/halloween/

関商業振興課

11/1(金) 「相模湾の環境保全と水産振興」シンポジウム

ID P27747 **水産海浜課** **☎**22-9227 **相模湾水産振興事業団** **☎**22-5989

相模湾の定置網漁業の現状や課題、今後の持続策を考えます。

時9:30～15:00 **場**けやき2階ホール

内黒潮大蛇行と相模湾および周辺海域の海況への影響、定置網などの漁況との関係 他

11/1(金)～30(土) 公共建築月間2019

ID P27754 **建築課** **☎**33-1559

11月11日は公共建築の日、11月は公共建築月間です。市内外の公共建築を対象にキーワードラリーを開催します。詳しくは、ホームページをご覧ください。

市内対象施設

白秋童謡館、清閑亭、松永記念館

ホhttp://www.pref.kanagawa.jp/docs/en5/cnt/f5034/index.html

11/2(土)～17(日) 小田原城菊花展

観光協会 **☎**22-5002

小田原城のミニチュアを小菊で飾った総合花壇、厚物、盆栽・スプレー菊など、逸品約700点を展示。小田原清香会による「菊づくり相談所」も開かれます。

時10:00～16:00

場城址公園本丸広場 **関**観光課

11/2(土)・6(水)・13(水) ROSEミニブーケ作り

申込▶フラワーガーデン **☎**34-2814

園内のバラや草花をふんだんに使い、おしゃれなミニブーケを作りましょう。トークを交えながら実施します。

時11:00～12:00

定各10人・申込先着順 **費**1,500円

講平賀由紀さん(flower shop PICCÖLO)

申各前日までに、電話で

11/3(祝) 農地探検ウォーキングin曽我山

ID P27843 **申込** 農政課 **☎**33-1494

ミカン畑が広がり、実りの秋を迎えた曽我丘陵を散策後、自然や農をテーマにワークショップを行います。

時10:00～14:00

場曽我丘陵

集合 JR下曽我駅前(10:00)

定20人・申込先着順 **費**500円

申10月24日(木)までに、電話で

11/8(金)～12/1(日) 最新出土品展2019

ID P27753 **文化財課** **☎**33-1715

昨年度の発掘調査で出土した遺物や調査写真を展示します。小田原開府500年記念の企画展も同時開催です。

時9:00～17:00

場郷土文化館1階展示室

関連事業

●遺跡講演会「小田原の史跡を語る」

市内の3つの国指定史跡(小田原城跡・石垣山・江戸城石垣石丁場跡)について学べる講演会です。

日11月9日(土)10:30～16:20
(受付10:00～)

場市民会館3階小ホール

定300人・当日先着順

●令和元年遺跡調査発表会

調査担当者が、映像などを使い、発掘調査の成果の概要を発表します。発表要旨の無料配布もあります。

日11月23日(祝)13:00～16:45
(受付12:30～)

場かもめ図書館2階視聴覚ホール

定100人・当日先着順

11/9(土) 市立病院市民公開講座

ID P27745 **医事課** **☎**34-3175

「がんを知ろう!」をテーマに、市立病院の医師や公認心理師などが、がん治療や患者の心のケア、がん相談窓口など、がんの幅広い情報をお伝えします。

時13:00～15:00 **場**UMECO会議室

※直接会場にお越しください。

11/9(土)・10(日) わんぱく工作室

わんぱくらんど **☎**24-3189

木の実や枝、木材を使って、自由に工作しましょう。 **※**雨天中止

時10:00～12:00、13:00～15:00

場わんぱくらんどエントランス広場

11/2(土)～12/22(日) 小田原市民文化祭(後期)

ID P27420 **文化政策課** **☎**33-1706

日程	事業名	会場
11月 2日(土)	第51回小田原三曲会演奏会	けやきホール
6日(水) ～11日(月)	小田原盆栽愛好会盆栽展	郷土文化館会議室
8日(金) ～10日(日)	演劇プロデュース『螺旋階段』 第26回公演「小田原みなとものがたり」 ～アジがおいしい編～	けやきホール
10日(日)	小田原民俗芸能保存協会後継者育成発表会	市民会館大ホール
16日(土)	小田原音楽連盟チャリティコンサート	
17日(日)	小田原洋舞連盟第47回舞踊公演	
	第39回小田原茶道連盟茶会	松永記念館
19日(火) ～24日(日)	西さがみ文芸展覧会	市民会館展示室
30日(土)	小田原男声合唱団第48回定期演奏会	市民会館大ホール
12月 8日(日)	小田原フィルハーモニー交響楽団 第120回定期演奏会	
15日(日)	小田原吹奏楽研究会第116回定期演奏会	
21日(土) 22日(日)	「相模舞台同盟」冬の演劇祭IN小田原	けやきホール
22日(日)	小田原少年少女合唱隊&マルベリー・チェンバー クワイア「クリスマス・チャリティーコンサート」	市民会館大ホール

スポーツ

トレーニングルーム 利用者講習会<11月分>

申込①小田原アリーナ ☎38-1144
②スポーツ会館 ☎23-2465

①小田原アリーナ

毎週月曜日19:00～20:00
毎週水曜日14:00～15:00
毎週木曜日11:00～12:00
毎週日曜日11:00～12:00
※11月21日(木)・25日(月)・28日(木)を除く。

対高校生以上各日15人・申込先着順
申10月15日(火)9:00から
ホhttp://odawaraarena.main.jp/

②スポーツ会館

毎11月7日(木)・16日(土)
14:00～15:00
11月20日(水)18:30～19:30
対高校生以上各日8人・申込先着順

小田原球場の一般開放日

申込小田原球場 ☎42-5511

11月の一般開放日は、3日(祝)です。

一般開放日の受付

申10月3日(木)～10日(木)に、電話で
※多数抽選

※大会開催時は、一般利用ができない
こともあります。

ホhttp://odawara-jigyo-kyokai.jp/kouen/

スポーツ会館施設の無料開放

スポーツ会館 ☎23-2465

体育の日に、体育室(バドミントン2面、
卓球5台)とトレーニング室を無料開放
します。

毎10月14日(祝)9:00～16:00
場室内履きやラケットなど(トレーニング
室は利用者証)

ホhttp://odawara-jigyo-kyokai.jp/sports/

おだわらキッズマラソン大会

体育協会 ☎38-3310

毎12月15日(日)9:00～
場小田原アリーナおよび周辺
内親子(1.0km)、小学1・2年生(1.8km)、
小学3・4年生(2.2km)、小学5・6年生
(2.8km)

対親子の部(3歳以上の未就学児と
保護者)400組800人、小学生の部
1,200人・申込先着順

費一人または一組1,500円(傷害保険
料含む)

申10月23日(水)～11月15日(金)まで
に、体育協会のホームページで

ホ「小田原市体育協会」で
検索

●大会ボランティア募集

毎12月15日(日)7:30～13:30
内大会運営スタッフ
対中学生以上100人・申込先着順
※当日は昼食と参加記念品を用意
申10月23日(水)～11月20日(水)
に、体育協会のホームページで



健康

健康カレンダーと併せてご覧ください。

ID P24735

11月の乳幼児健診と相談

健康づくり課 ☎47-4722

事業名	対象・実施日など
4か月児健診	令和元年7月生 12・27日
8～9か月児健診	取扱医療機関にて
1歳6か月児健診	平成30年4月生 7・15・25日
2歳児歯科健診	平成29年10月生 11・26日
3歳児健診	平成28年4月生 13・20・28日
いきいき親子 育児相談	1日
親子心理相談	就学前の親子 (電話申込制)

詳しくは、健康カレンダーをご覧ください。

はつらつ健康相談(予約不要)

ID P26635 健康づくり課 ☎47-4723

血圧測定、足指力測定、健康・栄養相談
などを行います。

10月28日(月)	上府中市民集会施設
11月 6日(水)	前羽福祉館
8日(金)	けやき

時9:30～11:00

ママパパ学級

ID P01994 申込健康づくり課 ☎47-4722

妊娠・出産・育児について学びます。

①赤ちゃんとの生活 その1

毎11月14日(木)13:20～15:30
内小児科医の話、赤ちゃんの1日と成長 他

②赤ちゃんとの生活 その2

毎11月21日(木)13:20～15:30
内沐浴・お着替え体験、出産後のこころの変化、泣いたときの対処法

場保健センター

対妊娠20週以降の妊婦とパートナー(妊
婦のみも可)(②24組・申込先着順)

持母子健康手帳、筆記用具(②はエプロン、手ふきタオルも)

申前日までに、電話で

高齢者インフルエンザ予防接種

ID P21169 健康づくり課 ☎47-0828

期10月1日(火)～令和2年2月29日(土)

場市内取扱医療機関 他
※予約の有無は医療機関に確認

対本市に住民登録がある人で、接種日に①65歳以上の人②60歳以上65歳未満で心臓やじん臓、呼吸器などに重い障がいがある人(身体障害者手帳1級程度)

費1,700円 接種回数 1回

持健康保険証など住所・年齢が分かるもの(②の人は身体障害者手帳)

※市民税非課税世帯および生活保護世帯の人は、接種費用が免除になります。接種2週間前までに健康づくり課に申請してください。申請せずに接種費用を支払われた場合、返金できません。

がん集団検診(申込制)

ID P26522 申込健康づくり課
☎47-4724 FAX47-0830

申電話、はがき、ファクスまたは市ホームページの申込フォームで

※下記以降の日程は、市ホームページまたは健康カレンダーを参照。

検診日 会場	胃がん	乳がん ※	子宮 頸がん
10月18日(金) 小田原アリーナ1階		○	○
10月24日(木) 小田原アリーナ1階	○		
10月25日(金) 国府津学習館	○		
10月28日(月) 市役所1階	○		
11月2日(土) 保健センター		○	○
11月9日(土) 保健センター	○		
11月15日(金) 小田原アリーナ1階		○	○

※乳がん検診はマンモグラフィ併用検診のみ

10月はピンクリボン月間です!

乳がんは、定期的に自己触診することで、自ら発見できる唯一のがんです。また、検診などで早期発見・治療することで90%以上治癒するともいわれています。40歳以上の女性は、市の乳がん検診の対象者です。乳がんで悲しむ人を一人でも減らしていくために、乳がん検診を受けましょう。

献血

ID P17481 健康づくり課 ☎47-0828

毎①10月5日(土)
10:00～12:00、13:30～16:00
②10月13日(日)
10:00～12:00、13:30～16:00
③10月16日(水)9:00～12:00
④10月27日(日)
10:00～12:00、13:30～16:00

場①ダイナシティイースト②ダイナシティウエスト③市消防本部④フレスポ小田原シティーモール

休日・夜間急患診療カレンダー

場保健センター 持健康保険証

●休日診療(日中)

受付 8:30～11:30(歯科9:00～)
13:00～15:30

	内科、小児科、 耳鼻咽喉科、歯科	眼科
10月 6日(日)	○	○
13日(日)	○	-
14日(祝)	○	○
20日(日)	○	○
22日(祝)	○	-
27日(日)	○	-
11月 3日(祝)	○	○
4日(休)	○	○
10日(日)	○	-
17日(日)	○	○

朝のエクササイズ講習 (4日間コース)

ID P27845 申込健康づくり課 ☎47-4723

朝の時間を有効に使って、家でできる筋トレ、歩き方、運動を続けるコツを学びます。

毎11月9日・23日・30日、令和2年1月25日の土曜日7:00～8:30

場保健センター2階集団検診室

対市内在住の18～60歳代の人30人(体重の増加が気になる人を優先)

持動きやすい服装・靴、飲み物

講内山聡さん(健康運動指導士) 他

申11月1日(金)までに、電話または市ホームページの申込フォームで

糖尿病週間行事& ふれあいけんこうフェスティバル

ID P16191 健康づくり課 ☎47-0828

●ふれあいけんこうフェスティバル

毎10月13日(日)10:00～15:00
場ダイシティウエスト1階

内●健康相談(糖尿病を中心とした医療相談、歯・薬・栄養相談など)

●健康チェック(骨密度、血管年齢測定など)

●ステージ(小田原医師会合唱団など)

●キャンペーン(薬物乱用防止、がん予防など)

●糖尿病週間行事

「はじめてみよう運動療法」

毎11月10日(日)
①10:00～(受付9:45～)
②13:00～(受付12:30～)

場マロニエ

内①調理実習とバイキング形式の試食「バイキングでカロリーチェック!」

②教育講演「今日からできる糖尿病の予防と自己管理」

定①35人・申込先着順
②100人・当日先着順

講①県栄養士会②片山隆司医師

申①11月8日(金)までに、電話(☎47-4723)で

主小田原地区糖尿病週間行事実行委員会

●準夜間診療 ※内科・小児科のみ

受付 平日 19:00～22:00
土・日曜日、祝休日
18:00～22:00

●連絡先

休日・夜間急患診療所 ☎47-0823
休日急患歯科診療所 ☎47-0825
休日・夜間急患薬局 ☎47-0826

●休日・夜間の病院案内
消防署 ☎49-0119

●毎日・夜間の急患診療

毎夜間・当直医の診療科と小児科の診療
市立病院 ☎34-3175

10年先も100年先もずっと笑顔で暮らすため

「人の力」で持続可能なまちづくり

エスディー・ジーズ

SDGs未来都市に選定

「市民の力で未来を拓く希望のまち」を将来都市像とする小田原。本市では、これまで持続可能な地域社会の実現に向け、協働の仕組みや地域コミュニティ組織の充実、民間の多彩な活動など、さまざまな取り組みを推進してきました。そして、人材・担い手不足への対応として「おだわら市民学校」などを展開しています。

こうした本市の実績と未来への指針が、共に高く評価され、今年の7月、全国の先導的モデルとして、国から「SDGs未来都市」に選定されました。

持続可能な地域社会のために

今月号の特集記事で取り上げたように、小田原に息づく「人の力」によって実現されるのが、持続可能な地域社会。市では、SDGsという世界共通の「道しるべ」を生かして、10年先も100年先もずっと笑顔で暮らすために、共感の輪を広げていきます。

市民の皆さんをはじめ、域外の人、そして民間事業者とのパートナーシップにより、本市のこれまでの課題解決の取り組みを、進化・加速させていきます。

SDGs未来都市 おだわら

本市のこれまでの課題解決の取り組み

課題

- ・一次産業の基盤強化と暮らしへの定着
- ・観光(交流)による地域活性化 など

経済



- ▶ 伝統的な地場産業の支援と育成
- ▶ 高技術・高品質のものづくりのPR促進
- ▶ 有機農業モデルタウンの取り組み
- ▶ 「木づかい」のまちづくり
- ▶ 農産物・水産物の地産地消とブランド化

課題

- ・地域コミュニティの強化
- ・地域資源を生かした協働の推進 など

社会



- ▶ ケアタウンの推進
- ▶ スクールコミュニティの形成
- ▶ 地域コミュニティの強化
- ▶ プロダクティブ・エイジングの推進

課題

- ・豊かな自然を次の世代へ引き継ぐ
- ・エネルギーの地域自給 など

環境



- ▶ 環境先進都市としてのブランド確立
- ▶ 地域の環境再生・保全活動の推進
- ▶ エネルギーの地域自給に向けた取り組み
- ▶ 森林の再生
- ▶ 里地里山の再生と整備
- ▶ 水辺環境の整備促進

小田原がこれまでに取り組んできたことは、世界が目指すSDGs実現に向けた取り組みと一緒！

本市総合計画「おだわらTRYプラン」

WEBID P02664

持続可能な地域社会の実現に向けた本市の取り組み



おだわら市民学校
Odawara Citizen School

実践現場で人材が育つことによる経済・環境・社会の各分野での課題解決の推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs(持続可能な開発目標) 「暮らしを豊かにする道しるべ」

誰一人取り残さない持続可能な社会を実現するための世界共通の目標「SDGs」。2015年に国連で全会一致で採択された世界を変えるための17の目標は、世界中の誰かを想いやることで、私たちの心や暮らしを豊かにしてくれるガイドです。SDGsの実現には、パートナーシップや分野ごとの連関、一人一人が、「自分ごと」としてふだんの暮らしに取り込んでいくことが重要とされています。

こまめに節電をする(目標7)、食べ残しに気を付ける(目標12)など、皆さんの小さな行動の積み重ねが、大きな変化につながっていきます。正に、皆の「積小為大」により実現していくのがSDGsです。



環境分野の先導的取り組み

SDGsを生かし、さらに進化・加速

地域循環共生圏づくり



「地域循環共生圏」とは、各地域が持つさまざまな資源を最大限に活用し、自立しながら、他地域ともお互いに支え合い成り立っている社会を言います。

本市が考える「地域循環共生圏」では、自然環境の課題解決に関わる人と資金が循環する仕組みをつくり、豊かな自然環境を保全・再生・活用し、次世代に引き継ぐことを目指します。

多くの皆さんを巻き込み、たくさんの思いを繋げながら、取り組んでいきます。

これまでの歩みに自信を持ち、更なる充実へ！

小田原市長 加藤憲一

「SDGsって何?」と、多くの市民の皆さんは思っているかもしれません。今回、小田原市が「未来都市」「モデル事業」として選定されたのは、上に列記したような、これまで市民の皆さんと協働で取り組んできた「持続可能な地域社会」を創るためのさまざまな活動が総体として高く評価されたからであり、更には「人」を育てることで今後より一層の推進を図るという方針が、全国の自治体のモデルになると期待されているからです。

人口減少や少子高齢化が進み、私たちの暮らしや経済の姿が変わりつつある中、真に持続可能な地域社会であるためには、豊かで健やかな自然環境、地に足の着いた経済活動、そしてお互いを支え合う社会の営みが、いずれも欠けることなく、地域の中に揃っていることが必要。そのためには、私たち市民一人一人がその大切さを改めて意識すると共に、現場での実践によりそれらの要素を支える「人」の力を、社会全体として育てて行くことが不可欠です。

「SDGs未来都市」とは、そうした目的意識を市民みんなが共有し、それぞれができる活動を行うことによって、環境・経済・社会の営みを支え、その中で次々と人が育ちながら、未来へと繋がっていく……そんな社会の姿であります。その選定と期待を、小田原は受けたのです。これまでの歩みに自信を持ち、そしてまだ道半ばのさまざまな取り組みをより一層充実させて、揺るぎない「持続可能な地域社会」を創っていきましょう!

